
平成21年度
県民アンケート調査
報告書（概要版）



平城遷都1300年祭

平成21年10月

奈良県

- 目 次 -

第1章 調査の実施概要

1 調査の目的.....	1
2 調査項目.....	1
3 調査方法.....	1
4 調査票の配付・回収の状況.....	1

第2章 調査結果の概要

1 県民の生活全般について	
1 - 1 現在の暮らし向きの実感.....	3
1 - 2 1年前と比較した暮らし向きの実感.....	4
1 - 3 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由.....	5
1 - 4 日頃の生活での悩みや不安の有無.....	6
1 - 5 日頃の生活での悩みや不安の内容.....	7
1 - 6 奈良県の住みやすさの評価.....	8
1 - 7 将来の奈良県での定住意向.....	9
1 - 8 将来的に奈良県に定住したくない理由.....	10
2 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について	
2 - 1 県民の身近な生活に関する項目の重要度と満足度の関係.....	11
2 - 2 地域別の重要度・満足度の比較.....	13
2 - 3 ライフステージ別の重要度・満足度の比較.....	16
3 県民の仕事に関する意識やニーズについて	
3 - 1 職業.....	19
3 - 2 勤め先の所在地.....	20
3 - 3 県外で働いている理由.....	21
3 - 4 今の仕事を選んだ理由.....	22
3 - 5 仕事に対する満足度.....	23
3 - 6 働いていない人の現在の求職活動の状況.....	25
3 - 7 求職者が働くための条件として重視すること.....	26
3 - 8 行政が取り組むべき雇用・就労支援対策.....	27
4 県民のまちづくりに関する意識やニーズについて	
4 - 1 地域のまちづくりの評価.....	28
4 - 2 地域で充実してほしい施設.....	29
4 - 3 不安に感じる犯罪.....	30
4 - 4 日頃から行っている災害等への備え.....	31
4 - 5 地域の生活環境の変化に対する評価.....	32
4 - 6 地域で景観を損なう要因となっていると思うもの.....	33

第1章 調査の実施概要

1 調査の目的

県民にとって身近な生活に関する事柄についての重要度・満足度のほか、「仕事」や「まちづくり」に関する意識やニーズを把握し、今後の県政運営の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2 調査項目

県民の生活全般に関する項目、県民にとって身近な生活に関する項目についての重要度と満足度を5段階で問う項目、「仕事」や「まちづくり」に関する意識やニーズ及び回答者の属性を問うフェイスシートから構成されています。

3 調査方法

調査地域：奈良県全域
調査対象：県内在住の満20歳以上の男女・個人
調査標本数：5,000人
標本抽出法：層化二段無作為抽出法
調査方法：郵送配付・郵送回収
調査時期：平成21年5月22日～6月8日

4 調査票の配付・回収の状況

調査票配付件数 5,000件 有効回答数(率) 2,934件 (58.7%)

地域の区分と対応する市町村及び地域別の実有効回答数

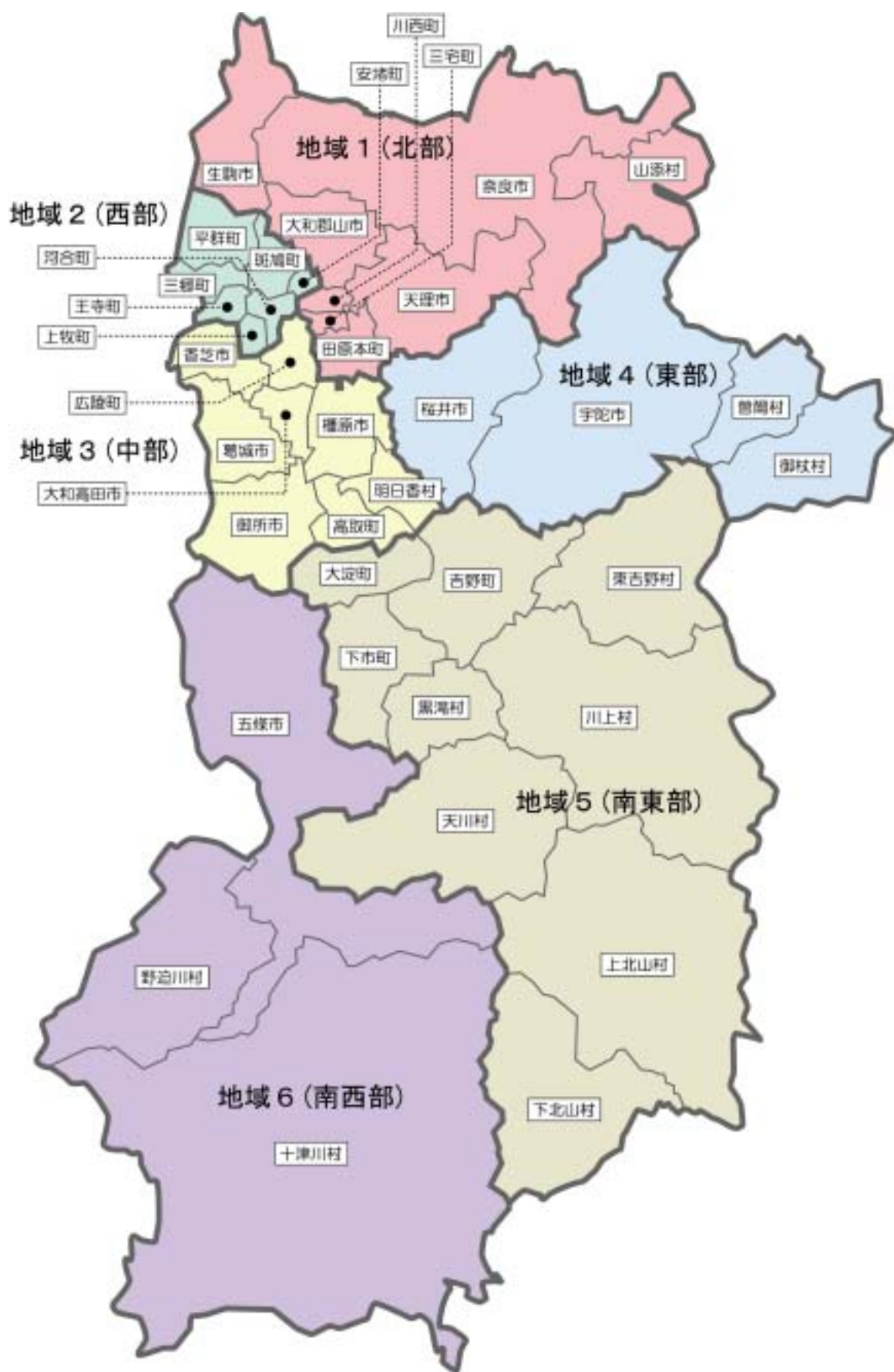
地域区分	対応する市町村	実有効回答数及び構成比
地域1(北部)	奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町	991件(33.8%)
地域2(西部)	平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町	402件(13.7%)
地域3(中部)	大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町	628件(21.4%)
地域4(東部)	桜井市・宇陀市・曽爾村・御杖村	353件(12.0%)
地域5(南東部)	吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村	282件(9.6%)
地域6(南西部)	五條市・野迫川村・十津川村	278件(9.5%)
合計		2,934件

ライフステージの区分と区分の設定条件及び実有効回答数

ライフステージ区分	区分の設定条件	実有効回答数及び構成比
若者	20～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者	355件(12.1%)
夫婦	20～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者	286件(9.7%)
育児期	小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者	269件(9.2%)
教育期前期	小・中学生、高校生の子どもがいる世帯の回答者	563件(19.2%)
教育期後期	専門学校生・短大生・大学生(院生)の子どもがいる世帯の回答者	243件(8.3%)
単身高齢者	65歳以上の単身世帯の回答者	99件(3.4%)
高齢者夫婦	65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者	386件(13.2%)
対象者数		2,934件

(注) ライフステージ区分は、「年齢」「世帯構成」「子どもの成長段階」の複数の要素を組み合わせ設定している。また、子どもの成長段階は複数回答でたずねているため、集計母数である2,934件に対する構成比の合計は100.0%にならない。

【県内地域区分図】



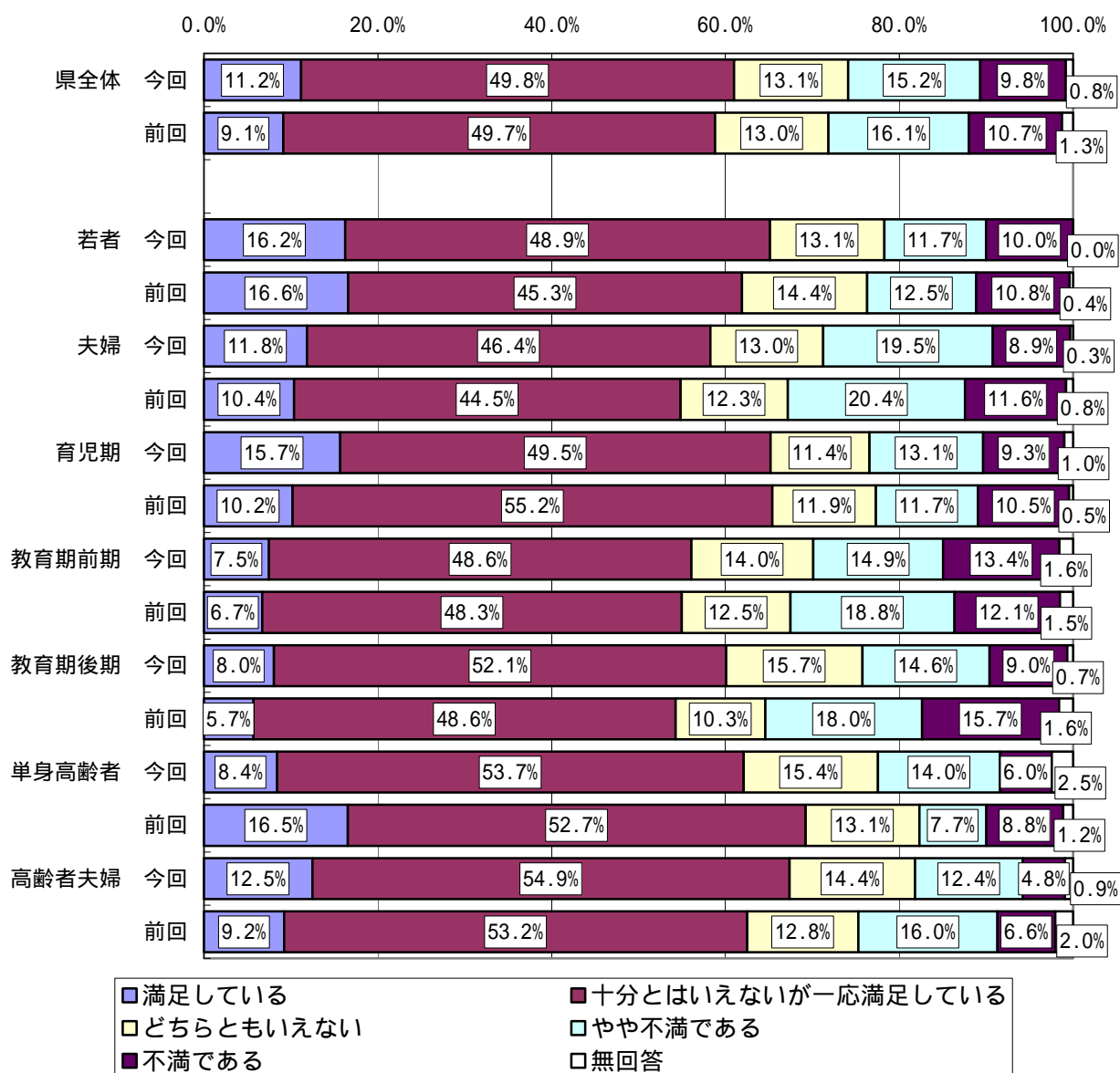
第2章 調査結果の概要

1 県民の生活全般について

1-1 現在の暮らし向きの実感

61.0%が「満足」しており、前回と比較すると、「満足」している人は58.8%から2.2ポイントの増加、「不満」を抱いている人は26.8%から1.8ポイントの減少にとどまり、大きな差はみられません。

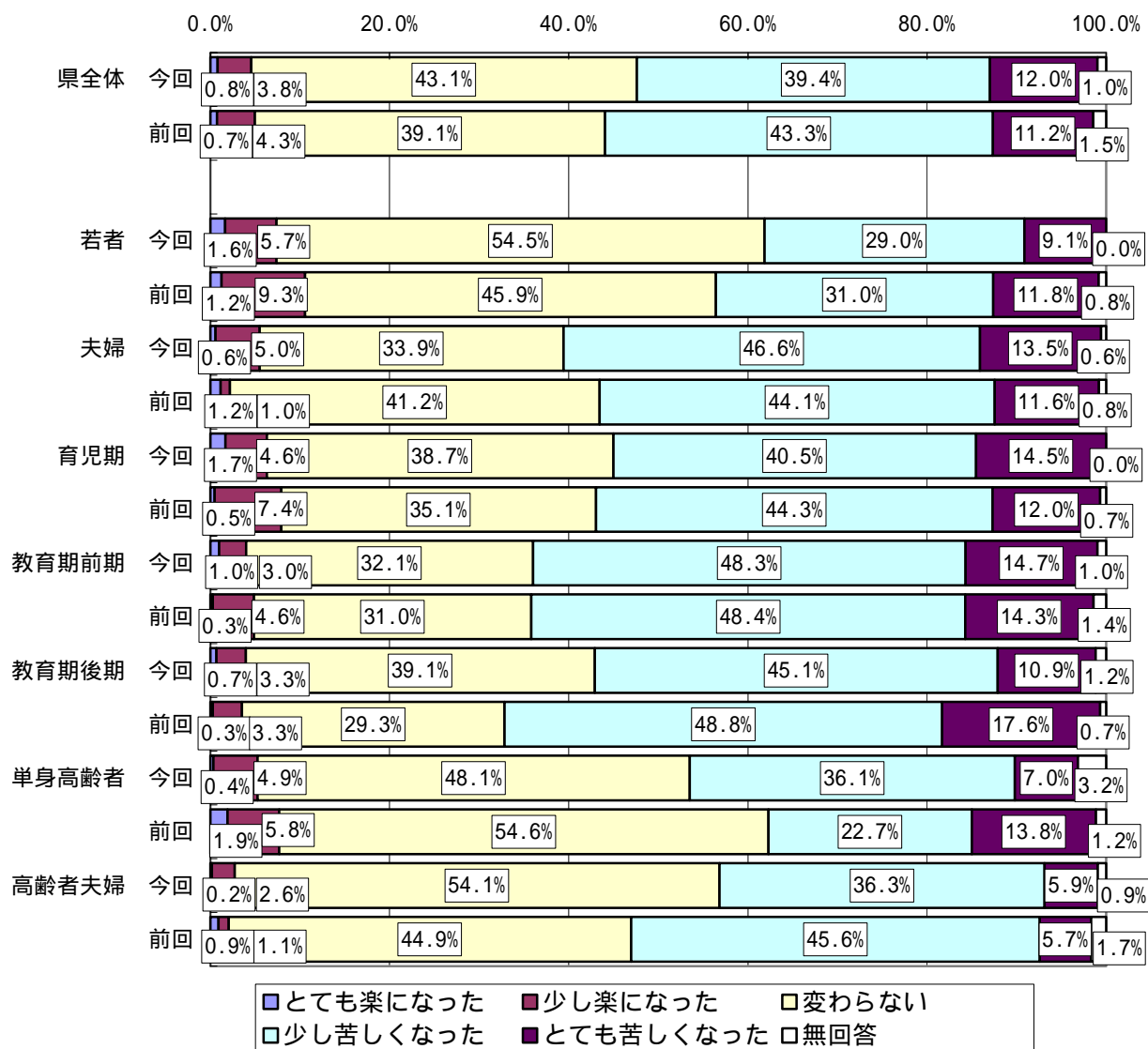
ライフステージ別にみると、「不満」を抱いている人は、「夫婦」では28.4%、「教育期前期」では28.3%で、他のライフステージより「不満」を抱いている人が多くなっています。前回と比較すると、「単身高齢者」では、「満足」している人が69.2%から62.1%へと7.1ポイント減少し、「不満」を抱いている人が16.5%から20.0%へと3.5ポイント増加しています。



1 - 2 1年前と比較した暮らし向きの実感

51.4%が「苦しくなった」と感じており、前回と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は54.5%から3.1ポイント減少し、「変わらない」は4.0ポイント増加しています。

ライフステージ別にみると、「夫婦」「育児期」「教育期前期」「教育期後期」では半数以上が「苦しくなった」と感じており、特に「夫婦」と「教育期前期」では60%以上を占めています。前回と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、「単身高齢者」では6.6ポイント、「夫婦」では4.4ポイントそれぞれ増加しています。また、「変わらない」は、「高齢者夫婦」では9.2ポイント、「若者」では8.6ポイントそれぞれ増加しています。



1 - 3 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由

「給料や収益が増えない、または減少したから」「税金や保険料の支払いが増えたから」「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」が上位3項目となっており、前回と変わりありません。「給料や収益が増えない、または減少したから」は60.9%から8.7ポイント増加しています。

ライフステージ別にみると、「若者」「夫婦」「育児期」「教育期前期」「教育期後期」では「給料や収益が増えない、または減少したから」、「単身高齢者」と「高齢者夫婦」では「税金や保険料の支払いが増えたから」がそれぞれ最も多くなっています。前回と比較すると、「教育期後期」では「教育にかかる費用が増えたから」の増加の幅が最も大きくなっています。

		少	ら	日	出	減	教	減	が	が	そ	
		給	税	家	家	利	育	失	結	家	他	
		料	金	族	や	率	に	業	婚	業		
		や	や	の	自	の	か	、	、	や		
		収	保	生	動	低	か	退	出	商		
		益	険	活	車	下	か	職	産	売		
		が	料	費	、	な	か	、	、	な		
		増	の	が	家	ど	か	病	病	か		
		え	支	増	電	り	か	気	気	か		
		な										
県全体	今回	69.6%	40.1%	31.3%	27.2%	24.4%	21.7%	20.5%	16.5%	9.2%	7.2%	
	前回	60.9%	52.1%	52.8%	32.2%	20.8%	21.7%	16.2%	16.7%	8.3%	6.2%	
ライフステージ別	若者	今回	78.2%	40.0%	23.9%	23.4%	11.0%	13.2%	13.4%	9.1%	4.1%	10.0%
		前回	60.0%	50.2%	51.5%	41.7%	11.7%	9.7%	17.0%	12.1%	2.7%	6.8%
	夫婦	今回	71.6%	38.3%	26.3%	31.8%	25.8%	3.8%	30.1%	24.8%	8.8%	2.8%
		前回	64.5%	43.6%	42.6%	35.1%	22.3%	2.7%	19.8%	21.1%	13.4%	3.7%
	育児期	今回	76.8%	44.5%	64.8%	36.3%	13.9%	44.3%	17.6%	23.0%	5.1%	3.9%
		前回	62.4%	45.9%	79.0%	38.6%	9.3%	36.9%	9.6%	19.5%	9.0%	4.6%
	教育期前期	今回	79.2%	30.7%	38.6%	32.9%	17.5%	68.2%	12.7%	8.9%	6.5%	3.6%
		前回	68.0%	50.1%	70.5%	37.5%	11.4%	71.6%	9.3%	8.6%	7.6%	2.9%
	教育期後期	今回	74.8%	36.0%	28.0%	33.4%	23.3%	61.4%	12.7%	10.4%	12.5%	5.4%
		前回	70.4%	49.6%	56.7%	33.9%	16.3%	53.5%	11.4%	16.3%	12.0%	2.7%
	単身高齢者	今回	33.3%	40.7%	17.1%	16.3%	30.9%	4.1%	12.2%	19.5%	0.0%	22.0%
		前回	15.8%	47.4%	8.4%	15.8%	14.7%	0.0%	15.8%	16.8%	0.0%	23.2%
	高齢者夫婦	今回	41.2%	52.9%	28.5%	19.8%	38.8%	0.2%	17.4%	20.3%	4.1%	14.4%
		前回	40.4%	61.2%	39.0%	17.5%	34.6%	0.0%	11.8%	17.2%	10.7%	12.8%

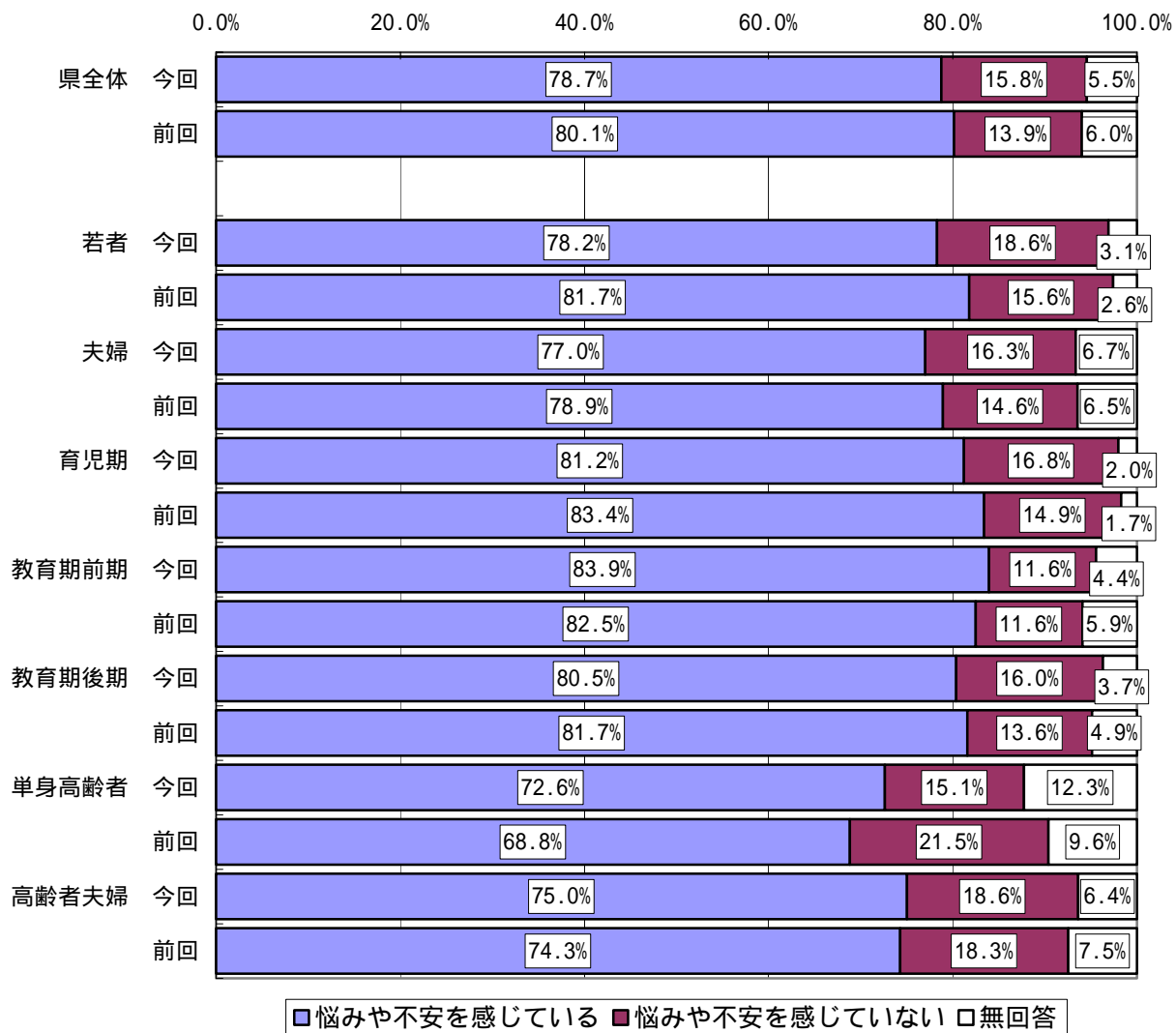
(注) 集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは前回よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

1 - 4 日頃の生活での悩みや不安の有無

78.7%が日頃の生活で「悩みや不安を感じている」と回答しており、前回の80.1%と大きな差はありません。

ライフステージ別にみると、「悩みや不安を感じている」は、「育児期」「教育期前期」「教育期後期」では80%以上を占めており、他のライフステージに比べてやや多くなっています。前回と比較すると、大きな差ではありませんが、「教育期前期」「単身高齢者」「高齢者夫婦」では「悩みや不安を感じている」人が増加しています。



1 - 5 日頃の生活での悩みや不安の内容

「老後の生活設計について」「自分の健康について」「今後の収入や資産の見通しについて」が上位3項目となっており、前回と変わりありません。「現在の収入や資産について」は33.2%から5.0ポイント増加しています。

ライフステージ別に見ると、「若者」では「自分の生活上（進学、就職、結婚など）の問題について」、「夫婦」と「教育期後期」では「老後の生活設計について」、「育児期」と「教育期前期」では「今後の収入や資産の見通しについて」、「単身高齢者」と「高齢者夫婦」では「自分の健康について」がそれぞれ最も多くなっています。前回と比較すると、「現在の収入や資産について」は、「夫婦」「育児期」「教育期前期」「単身高齢者」の4つのライフステージで5ポイント以上の増加がみられます。

		老後の生活設計について	自分の健康について	今後の収入や資産の見通しについて	家族の健康について	現在の収入や資産について	家族の生活上（進学、就職、結婚など）の問題について	自分の生活上（進学、就職、結婚など）の問題について	勤務先での仕事や人間関係について	家族・親族間の人間関係について	事業や家業の経営上の問題について	近隣・地域との関係について	その他
県全体	今回	58.0%	56.8%	54.7%	53.6%	38.2%	29.2%	17.6%	12.3%	11.0%	10.8%	6.4%	1.7%
	前回	61.1%	54.0%	56.8%	54.0%	33.2%	27.6%	14.5%	14.1%	12.6%	10.3%	8.9%	3.1%
若者	今回	19.8%	29.2%	56.4%	35.7%	45.5%	16.3%	76.5%	27.8%	9.8%	3.4%	4.0%	0.6%
	前回	17.9%	29.4%	57.2%	30.4%	41.8%	10.5%	69.2%	33.5%	11.0%	3.7%	4.6%	0.3%
夫婦	今回	74.5%	54.9%	65.0%	57.2%	45.4%	17.0%	5.0%	10.1%	10.8%	13.0%	5.4%	0.6%
	前回	73.1%	58.5%	61.5%	59.3%	30.5%	16.5%	3.2%	12.0%	12.3%	10.5%	5.8%	3.4%
育児期	今回	45.4%	34.0%	71.2%	46.3%	54.5%	31.3%	10.1%	15.0%	18.3%	9.0%	11.2%	2.5%
	前回	49.9%	30.3%	70.6%	42.9%	46.9%	26.9%	5.0%	16.5%	20.9%	8.8%	9.5%	2.4%
教育期前期	今回	56.2%	41.5%	68.5%	49.8%	44.3%	51.9%	6.4%	15.9%	13.3%	12.2%	7.8%	1.6%
	前回	59.3%	38.0%	71.0%	44.6%	38.3%	51.4%	6.1%	18.5%	17.8%	12.3%	9.0%	1.3%
教育期後期	今回	68.5%	56.7%	63.8%	59.8%	35.1%	58.7%	7.0%	13.4%	9.8%	15.7%	3.9%	1.5%
	前回	67.8%	45.3%	68.8%	49.5%	31.7%	52.0%	7.1%	17.6%	10.8%	15.3%	4.3%	1.0%
単身高齢者	今回	59.9%	84.5%	30.0%	17.9%	23.2%	6.3%	6.8%	0.0%	5.3%	1.0%	13.5%	3.4%
	前回	53.6%	84.4%	17.9%	22.9%	17.9%	8.9%	3.4%	0.0%	9.5%	2.8%	12.8%	2.8%
高齢者夫婦	今回	64.0%	79.2%	34.0%	66.9%	26.6%	7.8%	0.9%	0.2%	12.5%	6.0%	11.9%	2.0%
	前回	67.6%	79.9%	38.6%	74.2%	27.2%	6.3%	1.4%	1.0%	10.4%	8.6%	12.5%	5.8%

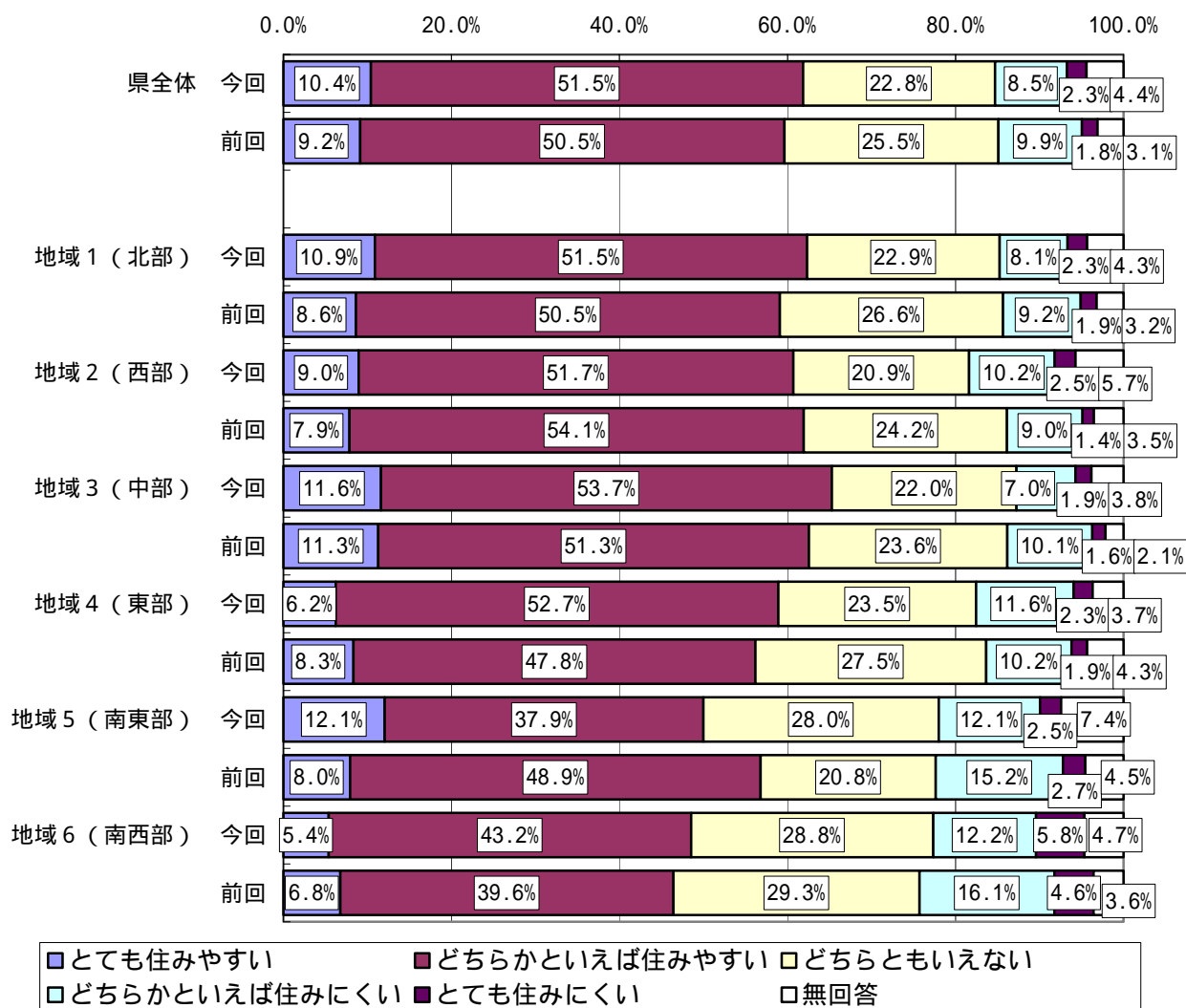
(注) 集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは前回よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

1 - 6 奈良県の住みやすさの評価

61.9%が奈良県を「住みやすい」と感じており、前回と比較すると、「住みやすい」と感じている人は59.7%から2.2ポイントの増加、「住みにくい」と感じている人は11.7%から0.9ポイントの減少にとどまり、大きな差はみられません。

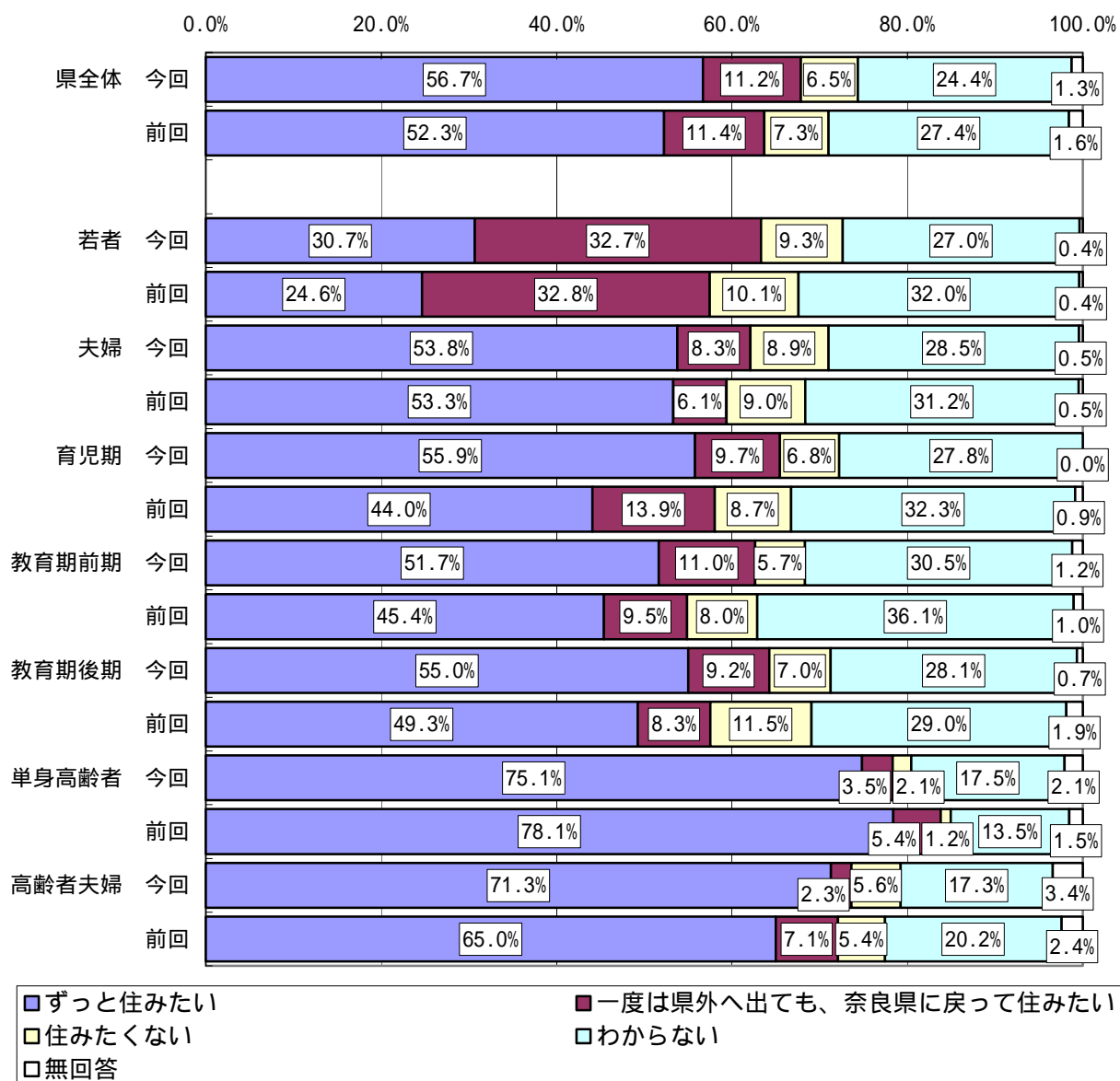
地域別にみると、「地域1(北部)」と「地域3(中部)」では「住みやすい」と感じている人が「県全体」よりも多く、「地域3(中部)」は65.3%で最も多くなっています。前回と比較すると、大きな差ではない地域もありますが、「地域1(北部)」「地域3(中部)」「地域4(東部)」「地域6(南西部)」では「住みやすい」と感じている人が増加しています。



1 - 7 将来の奈良県での定住意向

67.9%が将来も奈良県に「住みたい」と考えており、前回の63.7%から4.2ポイントの増加となっています。

ライフステージ別にみると、「若者」では「ずっと住みたい」が30.7%と継続的な定住を希望する人は最も少なくなっていますが、「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」は32.7%で最も多く、将来的に奈良県で「住みたい」と考えている「若者」は63.4%となっています。前回と比較すると、「単身高齢者」では、「住みたい」と考えている人が83.5%から78.6%へと4.9ポイント減少しています。



1 - 8 将来的に奈良県に定住したくない理由

「医療が充実していないから」と「買物など日常生活環境が整っていないから」が上位2項目となっており、前回と変わりありません。

ライフステージ別に見ると、「若者」では「通勤・通学に不便だから」、「単身高齢者」では「福祉サービスが充実していないから」が最も多く、他のライフステージでは「医療が充実していないから」が最も多くなっています。前回と比較すると、「夫婦」「育児期」「単身高齢者」では、「福祉サービスが充実していないから」が10ポイント以上増加しています。

		医療が充実していないから	買物など日常生活環境が整っていないから	福祉サービスが充実していないから	通勤・通学に不便だから	身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから	奈良県や身近な地域に愛着を感じないから	災害を防ぐための対策が不十分だから	治安を守るための対策が不十分だから	教育環境が充実していないから	家賃など住居費が高いから	騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから	緑などの自然環境がよくないから	その他
県全体	今回	45.3%	36.7%	34.5%	31.1%	24.7%	21.4%	14.7%	14.5%	13.1%	9.5%	6.7%	3.4%	19.5%
	前回	52.3%	36.3%	33.7%	34.1%	25.8%	23.0%	18.2%	17.8%	15.1%	8.8%	9.8%	3.1%	19.2%
若者	今回	30.8%	45.6%	20.8%	51.1%	27.1%	21.1%	8.3%	12.5%	8.5%	7.3%	3.5%	1.3%	17.3%
	前回	45.3%	43.6%	18.7%	53.7%	32.3%	15.8%	9.4%	12.8%	14.8%	5.2%	3.4%	1.7%	19.7%
夫婦	今回	50.0%	37.7%	42.5%	27.4%	19.3%	22.3%	12.0%	11.1%	8.1%	13.3%	9.9%	4.2%	17.8%
	前回	56.3%	33.0%	29.3%	27.9%	16.4%	35.1%	19.3%	13.2%	6.3%	8.6%	16.1%	4.3%	20.7%
育児期	今回	46.9%	29.0%	39.7%	23.8%	25.1%	25.1%	6.5%	12.7%	28.7%	18.6%	3.6%	5.2%	27.7%
	前回	49.7%	27.6%	26.9%	33.2%	22.5%	27.1%	9.5%	18.8%	26.7%	4.2%	4.2%	4.2%	26.2%
教育期前期	今回	53.3%	30.8%	34.1%	34.4%	23.3%	23.1%	12.9%	15.1%	25.9%	10.4%	5.5%	3.6%	22.6%
	前回	54.6%	35.6%	40.9%	36.7%	24.4%	23.1%	12.1%	24.1%	28.2%	8.8%	6.7%	2.2%	17.7%
教育期後期	今回	57.1%	36.1%	36.5%	38.3%	22.6%	19.9%	25.2%	18.8%	18.4%	3.8%	3.8%	4.5%	21.8%
	前回	60.5%	34.8%	34.8%	49.2%	24.1%	21.7%	16.4%	15.4%	28.1%	4.3%	12.0%	0.0%	16.4%
単身高齢者	今回	25.5%	27.3%	34.5%	0.0%	21.8%	32.7%	21.8%	3.6%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%
	前回	18.4%	47.4%	15.8%	23.7%	15.8%	28.9%	31.6%	7.9%	2.6%	0.0%	13.2%	7.9%	18.4%
高齢者夫婦	今回	54.4%	37.1%	46.3%	22.4%	23.1%	14.6%	19.4%	20.7%	6.8%	6.5%	9.5%	4.4%	9.5%
	前回	58.9%	46.4%	42.9%	14.5%	33.4%	17.5%	29.3%	23.1%	10.9%	8.3%	8.3%	5.0%	18.6%

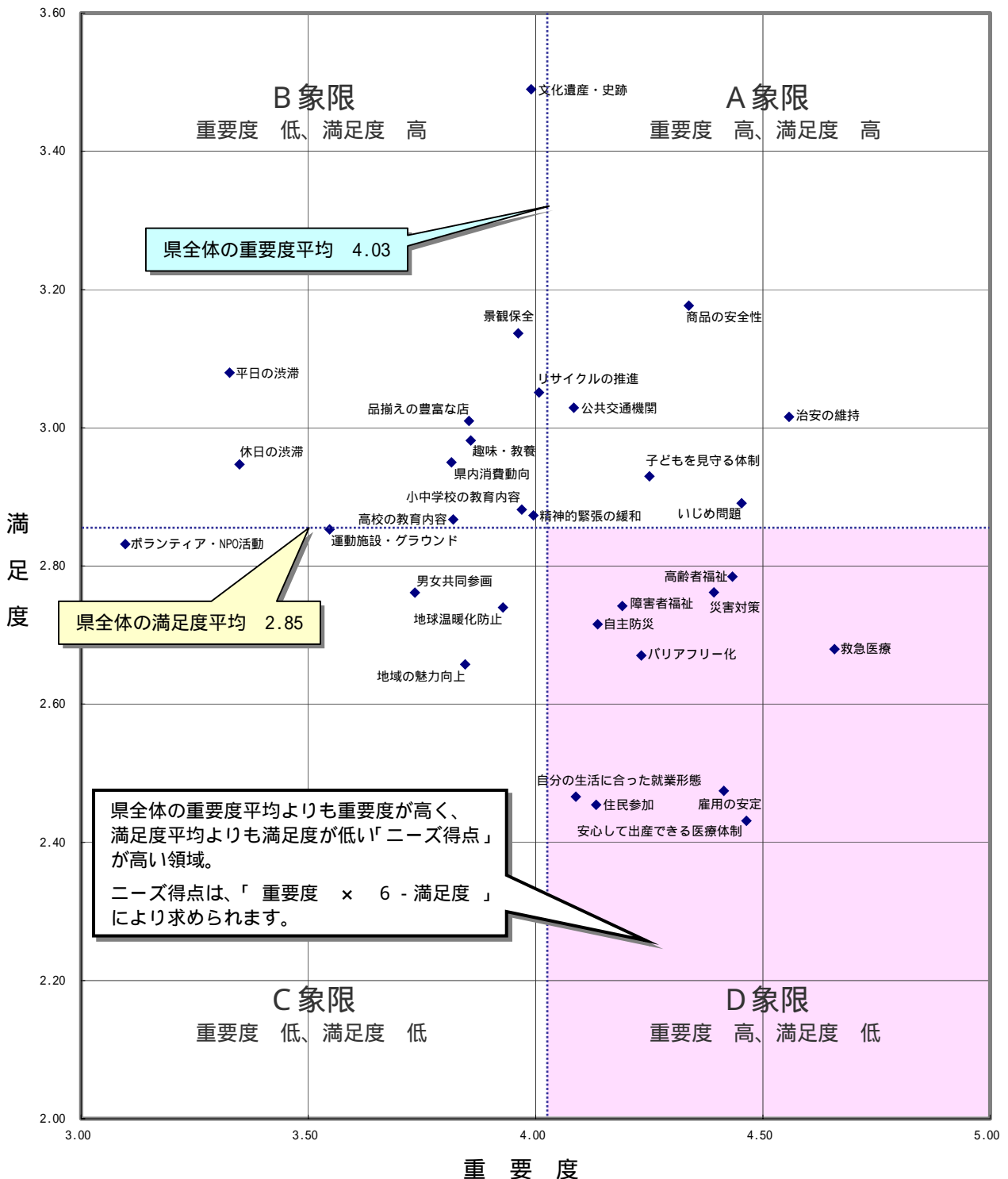
(注) 集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは前回よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

2 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について

2 - 1 県民の身近な生活に関する項目の重要度と満足度の関係

身近な生活に関する31項目それぞれについて、重要度と満足度の関係を整理しました。また、重要度と満足度の関係から課題・ニーズの大きさの指標となる「ニーズ得点」を算出しました。「重要度が高く、満足度が低い」図の右下の領域に属する「安心して出産できる医療体制」「雇用の安定」「救急医療」「住民参加」「自分の生活に合った就業形態」などは、特にニーズ得点が高い項目です。



【身近な生活に関する31項目の重要度・満足度・ニーズ得点（前回比較・今回のニーズ得点が高い順）】

順位	項目番号	項目	図中の項目の略称	重要度		満足度		ニーズ得点	
				今回	前回	今回	前回	今回	前回
1	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心して出産できる医療体制	4.46	4.58	2.43	2.35	15.93	16.75
2	29	失業の不安がなく働けること	雇用の安定	4.41	4.40	2.47	2.62	15.56	14.87
3	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	救急医療	4.66	4.66	2.68	2.62	15.47	15.77
4	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	住民参加	4.13	4.18	2.45	2.39	14.66	15.08
5	31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	自分の生活に合った就業形態	4.09	3.90	2.47	2.47	14.45	13.76
6	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	高齢者福祉	4.43	4.35	2.78	2.73	14.26	14.24
7	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	災害対策	4.39	4.55	2.76	2.52	14.22	15.81
8	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	バリアフリー化	4.23	4.25	2.67	2.60	14.09	14.45
9	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	いじめ問題	4.45	4.60	2.89	2.64	13.85	15.43
10	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者福祉	4.19	4.17	2.74	2.69	13.65	13.83
11	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	治安の維持	4.56	4.65	3.02	2.62	13.60	15.74
12	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災	4.14	4.31	2.72	2.52	13.59	15.00
13	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもを見守る体制	4.25	4.29	2.93	2.90	13.05	13.28
14	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域の魅力向上	3.84	3.69	2.66	2.63	12.85	12.45
15	27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	地球温暖化防止	3.93	4.15	2.74	2.64	12.81	13.93
16	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的緊張の緩和	4.00	4.18	2.87	2.70	12.49	13.79
17	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	小中学校の教育内容	3.97	4.22	2.88	2.83	12.38	13.37
18	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	商品の安全性	4.34	4.46	3.18	2.76	12.24	14.43
19	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通機関	4.08	4.09	3.03	2.95	12.13	12.46
20	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女共同参画	3.73	4.02	2.76	2.84	12.09	12.69
21	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	高校の教育内容	3.82	3.94	2.87	2.80	11.96	12.62
22	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	リサイクルの推進	4.01	4.28	3.05	3.08	11.82	12.50
23	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	趣味・教養	3.86	3.97	2.98	2.99	11.64	11.95
24	30	県内で買いたいものが販売されていること	県内消費動向	3.82	3.80	2.95	2.95	11.64	11.61
25	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.85	3.73	3.01	3.01	11.52	11.18
26	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	景観保全	3.96	3.98	3.14	3.25	11.34	10.94
27	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	運動施設・グラウンド	3.55	3.64	2.85	2.84	11.16	11.52
28	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞	3.35	3.35	2.95	2.87	10.22	10.48
29	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産・史跡	3.99	3.97	3.49	3.40	10.02	10.31
30	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPO活動	3.10	3.22	2.83	2.75	9.81	10.46
31	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞	3.33	3.38	3.08	2.95	9.72	10.32

（注）点数表記は小数第2位までだが、順位の設定は小数第3位以下も考慮している。

2 - 2 地域別の重要度・満足度の比較

(1) 県全体及び地域別の重要度上位5項目の傾向

重要度上位5項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「失業の不安がなく働けること」(「地域5(南東部)」の第3位、「地域3(中部)」「地域4(東部)」「地域6(南西部)」の第4位)、「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」(「地域2(西部)」と「地域5(南東部)」の第4位、「地域3(中部)」と「地域6(南西部)」の第5位)となっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.56	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.45	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43
地域1 (北部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.65	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.56	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.50	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.46	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46
地域2 (西部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.68	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.61	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.45	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.39	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.39
地域3 (中部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.57	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.50	失業の不安がなく働けること 4.43	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.43
地域4 (東部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.64	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.49	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46	失業の不安がなく働けること 4.44	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.43
地域5 (南東部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.64	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.49	失業の不安がなく働けること 4.46	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.45	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.44
地域6 (南西部)	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.71	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.61	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.58	失業の不安がなく働けること 4.46	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.45

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。

(2) 県全体及び地域別の満足度上位5項目の傾向

満足度上位5項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと」(「地域1(北部)」の第2位、「地域2(西部)」と「地域3(中部)」の第5位)、「住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること」(「地域4(東部)」「地域5(南東部)」「地域6(南西部)」の第4位)などとなっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡が大事にされること 3.49	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.18	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.14	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.08	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.05
地域1(北部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.51	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 3.22	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.20	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.19	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.08
地域2(西部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.53	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.15	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.15	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.09	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 3.05
地域3(中部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.48	品揃えの豊富な店が近くにあること 3.27	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.24	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.11	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 3.08
地域4(東部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.44	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.23	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.13	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.10	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.09
地域5(南東部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.37	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.21	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.19	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.12	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること 3.05
地域6(南西部)	文化遺産や史跡が大事にされること 3.33	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.08	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.03	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.01	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.00

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

(3) 県全体及び地域別の満足度下位5項目の傾向

満足度下位5項目で、個別の地域にはあるが「県全体」にはない項目は、「電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと」(「地域6(南西部)」の第31位、「地域5(南東部)」の第30位)、「高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること」(「地域1(北部)」と「地域3(中部)」の第27位)などとなっています。

	第31位	第30位	第29位	第28位	第27位
県全体	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.43	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.45	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.47	失業の不安がなく働けること 2.47	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.66
地域1(北部)	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.49	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.51	失業の不安がなく働けること 2.51	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.53	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること 2.70
地域2(西部)	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.45	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.48	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.50	失業の不安がなく働けること 2.59	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること 2.70
地域3(中部)	失業の不安がなく働けること 2.43	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.44	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.44	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.45	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること 2.67
地域4(東部)	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.29	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.32	失業の不安がなく働けること 2.32	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.36	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.39
地域5(南東部)	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 1.85	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 2.12	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.22	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.28	品揃えの豊富な店が近くにあること 2.29
地域6(南西部)	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 1.73	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 1.74	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.11	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.24	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.26

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

2 - 3 ライフステージ別の重要度・満足度の比較

(1) 県全体及びライフステージ別の重要度上位5項目の傾向

重要度上位5項目で、個別のライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「失業の不安がなく働けること」(「若者」「夫婦」「教育期前期」の第4位)、「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」(「教育期後期」の第4位、「若者」と「夫婦」の第5位)などとなっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.56	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.45	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43
若者	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.71	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.66	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.61	失業の不安がなく働けること 4.55	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.47
夫婦	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.55	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43	失業の不安がなく働けること 4.41	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.40
育児期	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.72	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.69	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.65	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.58	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること 4.49
教育期前期	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.66	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.66	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.63	失業の不安がなく働けること 4.52	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.46
教育期後期	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.74	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.65	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.56	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 4.51	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.49
単身高齢者	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.55	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.43	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.37	文化遺産や史跡が大事にされること 4.22	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと 4.20
高齢者夫婦	急病時に診てもらえる医療機関があること 4.57	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること 4.48	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること 4.44	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと 4.38	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 4.28

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位の設定は小数第3位以下も考慮している。

(2) 県全体及びライフステージ別の満足度上位5項目の傾向

満足度上位5項目で、個別のライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること」(「高齢者夫婦」の第4位、「育児期」の第5位)、「住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること」(「若者」と「教育期後期」の第5位)などとなっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	文化遺産や史跡が大事にされること 3.49	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.18	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.14	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.08	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.05
若者	文化遺産や史跡が大事にされること 3.48	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.20	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.17	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.05	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.01
夫婦	文化遺産や史跡が大事にされること 3.40	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.08	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.05	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.04	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.03
育児期	文化遺産や史跡が大事にされること 3.52	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.18	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.10	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.03	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること 2.96
教育期前期	文化遺産や史跡が大事にされること 3.50	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.17	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.16	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.09	品揃えの豊富な店が近くにあること 3.05
教育期後期	文化遺産や史跡が大事にされること 3.46	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.09	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと 3.05	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.04	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること 3.02
単身高齢者	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.30	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.24	急病時に診てもらえる医療機関があること 3.20	文化遺産や史跡が大事にされること 3.19	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること 3.18
高齢者夫婦	文化遺産や史跡が大事にされること 3.64	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること 3.50	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること 3.38	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること 3.26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと 3.21

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定は小数第3位以下も考慮している。

(3) 県全体及びライフステージ別の満足度下位5項目の傾向

満足度下位5項目で、個別のライフステージにはあるが「県全体」にはない項目は、「急病時に診てもらえる医療機関があること」(「育児期」の第28位、「若者」「夫婦」「教育期前期」「教育期後期」の第27位)、「家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと」(「単身高齢者」の第31位)、「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」(「単身高齢者」の第30位)などとなっています。

	第31位	第30位	第29位	第28位	第27位
県全体	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.43	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.45	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.47	失業の不安がなく働けること 2.47	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.66
若者	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.23	失業の不安がなく働けること 2.35	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.41	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.44	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.51
夫婦	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.34	失業の不安がなく働けること 2.37	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.44	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.46	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.50
育児期	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.41	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.43	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.52	失業の不安がなく働けること 2.53
教育期前期	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.39	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.41	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.47	失業の不安がなく働けること 2.53	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.63
教育期後期	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.41	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.44	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.44	失業の不安がなく働けること 2.47	急病時に診てもらえる医療機関があること 2.58
単身高齢者	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと 2.22	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること 2.62	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.67	品揃えの豊富な店が近くにあること 2.68	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと 2.69
高齢者夫婦	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること 2.58	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること 2.61	失業の不安がなく働けること 2.63	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること 2.74	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること 2.76

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位の設定は小数第3位以下も考慮している。

3 県民の仕事に関する意識やニーズについて

3 - 1 職業

「正規の職員・従業員」が24.1%で最も多く、「パート・アルバイト（学生を除く）」「契約社員・嘱託」「派遣社員」を合計した「非正規社員等」は15.1%となっています。

性・年齢別にみると、男性の「20歳代」から「50歳代」では「正規の職員・従業員」が最も多くなっています。また、女性の「20歳代」では「正規の職員・従業員」、「30歳代」から「60歳代」では「家事専業・家事手伝い」が最も多くなっています。

性・婚姻状況別にみると、男性では「未婚」「既婚」ともに「正規の職員・従業員」が最も多いのに対し、女性では「未婚」でのみ「正規の職員・従業員」が最も多く、「既婚」では「家事専業・家事手伝い」、「離婚・死別」では「無職」がそれぞれ最も多くなっています。

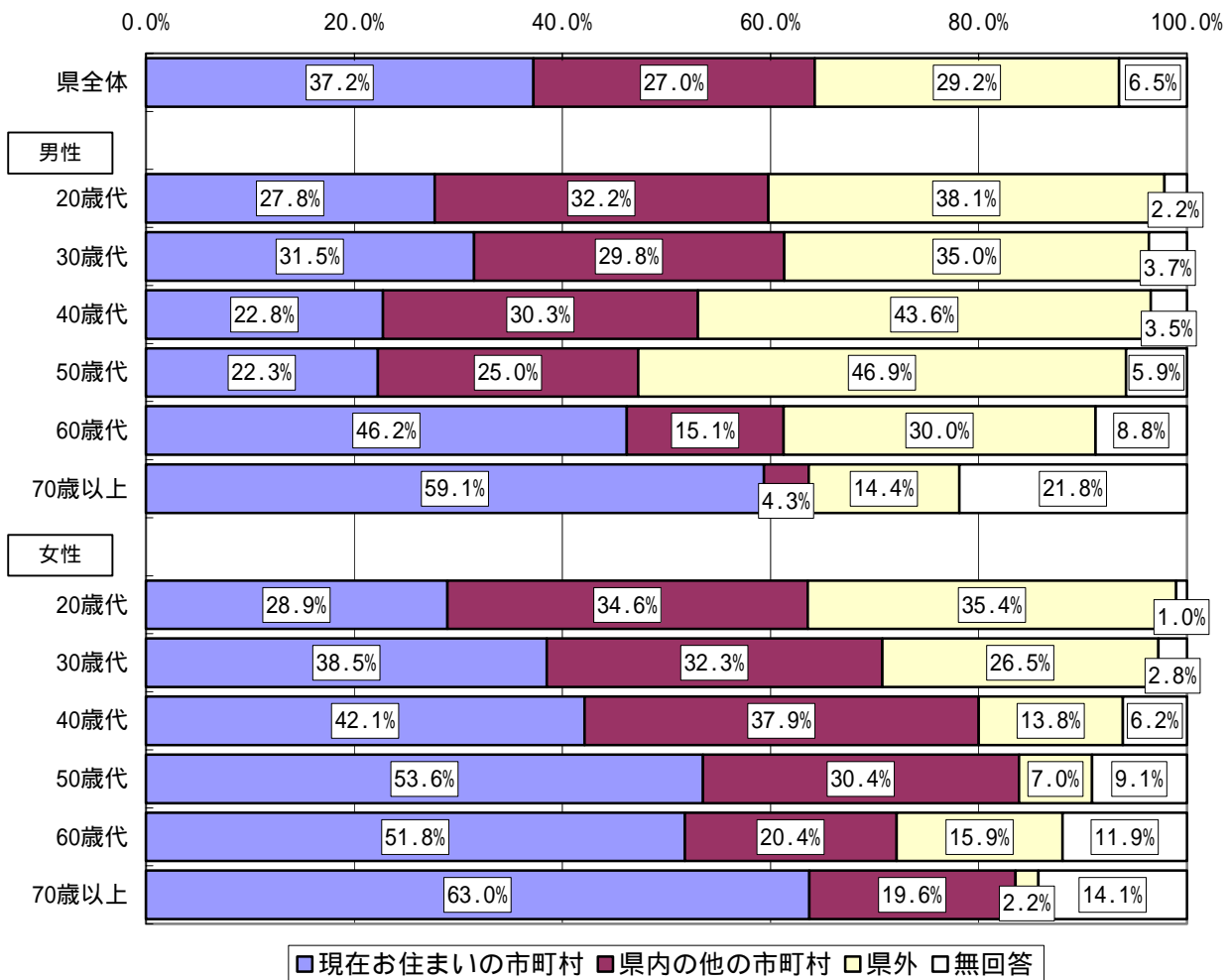
	正規の職員・従業員	無職	家事専業・家事手伝い	パート・アルバイト（学生を除く）	従業員（卸売業・飲食業・製造工業・建設業など）	商工・サービスの自営業・家族従業員	契約社員・嘱託	農林漁業の自営業・家族従業員	学生	その他自営業（開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など）	企業などの役員	派遣社員	その他	無回答
県全体	24.1%	19.7%	17.2%	10.2%	8.5%	4.1%	3.0%	2.7%	1.8%	1.7%	0.8%	2.5%	3.6%	
性別・男性	33.9%	24.0%	0.5%	4.2%	12.9%	5.7%	4.4%	3.4%	2.0%	2.9%	0.5%	3.0%	2.4%	
性別・女性	16.0%	15.4%	32.9%	16.0%	4.1%	2.5%	1.7%	2.2%	1.6%	0.6%	1.1%	1.7%	4.4%	
性別・男性・20歳代	39.8%	7.4%	0.2%	6.4%	9.7%	5.1%	1.8%	25.6%	1.2%	0.4%	0.5%	0.7%	1.2%	
性別・男性・30歳代	65.2%	1.7%	0.0%	3.9%	16.4%	6.4%	1.5%	0.0%	0.6%	1.5%	0.9%	0.9%	0.9%	
性別・男性・40歳代	65.3%	4.8%	0.0%	3.8%	14.3%	1.9%	2.2%	0.0%	2.1%	4.3%	0.0%	0.3%	0.9%	
性別・男性・50歳代	60.0%	4.4%	0.7%	2.4%	16.2%	3.5%	2.0%	0.0%	0.5%	6.4%	0.3%	1.9%	1.7%	
性別・男性・60歳代	7.0%	35.1%	0.0%	8.4%	16.8%	14.5%	5.5%	0.0%	2.6%	4.0%	1.3%	2.2%	2.4%	
性別・男性・70歳以上	0.9%	59.8%	1.5%	1.2%	6.6%	2.2%	9.2%	0.5%	3.6%	0.9%	0.0%	8.3%	5.3%	
性別・女性・20歳代	43.2%	3.9%	14.1%	12.8%	1.3%	4.3%	0.3%	16.4%	0.0%	0.0%	1.6%	0.7%	1.5%	
性別・女性・30歳代	26.3%	5.1%	34.1%	18.8%	3.2%	4.7%	0.7%	0.0%	2.5%	0.7%	1.8%	1.5%	0.6%	
性別・女性・40歳代	22.6%	3.1%	32.2%	26.9%	3.3%	3.2%	0.3%	0.3%	3.7%	0.5%	2.0%	0.7%	1.2%	
性別・女性・50歳代	14.4%	5.8%	32.8%	29.9%	7.8%	1.2%	1.1%	0.0%	2.1%	1.0%	1.0%	1.4%	1.7%	
性別・女性・60歳代	3.2%	17.9%	50.5%	9.6%	6.5%	2.6%	2.2%	0.0%	1.2%	1.1%	0.6%	2.3%	2.3%	
性別・女性・70歳以上	0.0%	43.8%	29.7%	2.1%	1.8%	0.4%	4.4%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	3.2%	14.2%	
性別・男性・未婚	42.6%	9.1%	0.1%	8.1%	9.7%	6.5%	2.9%	16.6%	1.4%	0.0%	0.9%	1.2%	0.8%	
性別・男性・既婚	33.2%	26.6%	0.7%	2.9%	14.2%	5.7%	4.4%	0.0%	2.0%	4.0%	0.4%	3.4%	2.6%	
性別・男性・離婚・死別	14.7%	45.0%	0.0%	7.2%	6.8%	4.4%	6.4%	2.0%	5.2%	0.0%	0.0%	5.6%	2.8%	
性別・女性・未婚	49.1%	9.7%	3.5%	11.3%	3.1%	5.3%	0.3%	11.7%	1.4%	0.3%	2.5%	1.2%	0.8%	
性別・女性・既婚	10.4%	10.5%	45.1%	18.6%	4.6%	1.7%	1.7%	0.2%	1.6%	0.7%	0.5%	1.7%	2.5%	
性別・女性・離婚・死別	5.4%	40.4%	14.6%	11.5%	2.5%	2.7%	2.2%	0.7%	1.4%	0.5%	1.4%	2.5%	14.0%	

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

網かけは「その他」「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、太字の数値は最多項目を示している。

3 - 2 勤め先の所在地

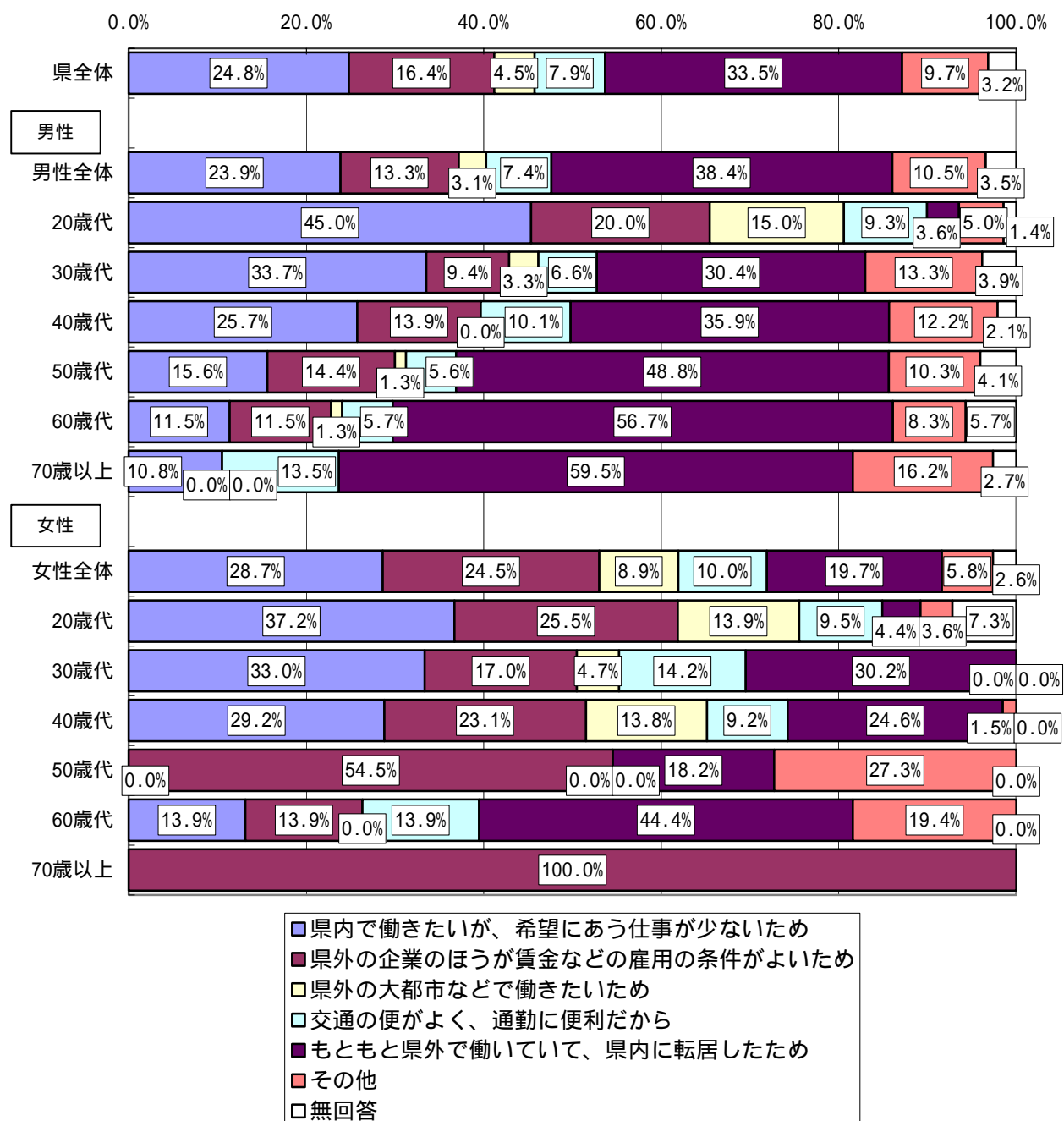
「現在お住まいの市町村」が最も多く、以下、「県外」「県内の他の市町村」となっています。性・年齢別にみると、男性の「20歳代」から「50歳代」では「県外」が最も多く、特に「40歳代」と「50歳代」では40%以上を占めています。また、女性では、年齢層が高いほど「現在お住まいの市町村」が多い傾向となっており、「県外」は、「50歳代」にかけては年齢層が高いほど少なくなっています。



3 - 3 県外で働いている理由

「もともと県外で働いていて、県内に転居したため」が最も多く、以下、「県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため」、「県外の企業のほうが賃金などの雇用の条件がよいため」と続いています。

性・年齢別にみると、男性では、年齢層が低いほど「県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため」が多い傾向となっており、逆に、年齢層が高いほど「もともと県外で働いていて、県内に転居したため」が多い傾向となっています。また、女性では、「20歳代」から「40歳代」で「県内で働きたいが、希望にあう仕事が少ないため」が最も多くなっています。



3 - 4 今の仕事を選んだ理由

「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」が最も多く、以下、「経営が安定した会社（官公庁）だから」「通勤時間が短いから」と続いています。

性・年齢別にみると、男性の「20歳代」から「60歳代」では「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」が最も多くなっています。また、女性の「20歳代」から「40歳代」では「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」が最も多く、年齢層が低いほど多い傾向となっています。

職業別にみると、「正規社員等」と「企業などの役員」では「専門的な資格や技術、経験が活かせるから」、「非正規社員等」では「自分の都合のよい時間に働けるから」がそれぞれ最も多くなっています。

	専門的な資格や技術、経験が活かせるから	経営が安定した会社（官公庁）だから	通勤時間が短いから	親族などから家族（農林漁業・工業・会社役員など）を引き継いだから	自分の都合のよい時間に働けるから	家庭の事情（家事・育児・介護等）と両立しやすいから	自ら起業したから	正社員として働ける会社が見つからなかったから	収入がよいから	社会保険・住まいなどの福利厚生が充実しているから	勤務する時間や日数が短いから	組織に縛られるのは嫌だから	簡単な仕事で責任も少ないから	扶養認定などのために、就業調整（収入や労働時間の調整）をしたから	体力的に正社員として働けないから	その他
県全体	32.3%	16.9%	15.1%	11.0%	10.9%	10.0%	8.5%	8.1%	7.0%	6.4%	5.3%	2.6%	2.5%	0.8%	0.4%	11.1%
性別																
男性	33.4%	20.8%	9.8%	12.8%	6.4%	3.7%	11.0%	8.5%	6.9%	6.5%	3.8%	4.2%	2.2%	0.5%	0.2%	12.6%
女性	31.0%	11.9%	22.6%	7.8%	17.6%	19.2%	4.7%	7.7%	7.1%	6.4%	7.5%	0.3%	2.8%	1.3%	0.6%	9.0%
性別・男性																
20歳代	30.2%	19.1%	15.8%	7.9%	8.2%	2.2%	3.8%	18.5%	9.0%	8.2%	0.0%	4.1%	0.5%	0.0%	0.0%	22.3%
30歳代	36.8%	16.1%	11.0%	13.2%	2.5%	2.9%	3.5%	9.1%	8.9%	7.0%	0.4%	3.1%	2.1%	0.2%	0.0%	15.7%
40歳代	36.6%	28.7%	11.4%	10.7%	4.2%	5.5%	7.9%	6.4%	5.0%	7.7%	3.9%	2.6%	0.9%	0.7%	0.4%	12.5%
50歳代	34.8%	33.5%	9.1%	6.6%	3.7%	3.8%	8.2%	8.9%	7.3%	8.8%	2.0%	4.5%	1.5%	0.0%	0.0%	10.0%
60歳代	32.6%	10.9%	8.4%	12.2%	9.7%	2.5%	26.5%	5.7%	6.9%	3.4%	9.7%	7.4%	5.7%	1.7%	0.0%	8.4%
70歳以上	22.2%	1.9%	0.0%	41.2%	16.3%	5.1%	19.1%	1.6%	3.5%	0.0%	8.6%	2.7%	2.3%	0.0%	1.9%	8.6%
性別・女性																
20歳代	49.9%	11.1%	25.1%	0.5%	10.9%	9.0%	0.0%	9.0%	13.4%	10.1%	1.8%	0.8%	2.8%	0.0%	0.0%	11.9%
30歳代	32.3%	13.5%	18.8%	4.5%	16.5%	23.0%	2.8%	10.3%	9.3%	6.0%	1.5%	0.0%	0.5%	2.5%	0.0%	11.3%
40歳代	32.6%	15.3%	26.2%	4.9%	21.9%	23.8%	1.5%	8.5%	8.7%	7.0%	7.4%	0.4%	1.1%	1.1%	1.1%	8.3%
50歳代	22.6%	12.3%	25.3%	8.5%	20.0%	21.1%	9.8%	7.2%	1.1%	4.5%	14.5%	0.0%	5.5%	2.6%	1.1%	7.7%
60歳代	19.5%	7.5%	17.7%	20.4%	20.4%	23.0%	8.8%	0.9%	4.0%	4.0%	8.8%	0.4%	0.9%	0.0%	0.0%	5.3%
70歳以上	12.0%	0.0%	9.8%	32.6%	9.8%	5.4%	13.0%	4.3%	2.2%	5.4%	19.6%	0.0%	13.0%	0.0%	2.2%	5.4%
職業別																
農林漁業	3.9%	0.7%	1.1%	67.5%	18.2%	5.7%	2.1%	1.4%	0.7%	0.0%	1.4%	2.9%	2.9%	0.0%	0.7%	11.4%
自営業	29.1%	1.5%	4.4%	32.1%	6.4%	6.2%	37.4%	2.4%	4.9%	1.5%	2.1%	8.3%	1.9%	0.0%	0.0%	6.3%
正規社員等	44.1%	32.2%	15.8%	0.7%	1.5%	4.6%	0.6%	6.3%	10.2%	10.7%	1.5%	0.6%	0.7%	0.1%	0.0%	14.4%
非正規社員等	21.4%	6.6%	25.3%	0.4%	28.6%	22.5%	0.6%	16.7%	5.1%	4.1%	15.0%	2.2%	6.0%	2.8%	1.1%	9.0%
企業などの役員	31.0%	14.8%	3.2%	24.5%	2.6%	5.8%	27.1%	2.6%	1.3%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

網かけは「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、字の数値は最多項目を示している。

職業の区分について、「自営業」は「商工・サービス業の自営業・家族従業員」及び「その他（の業種）の自営業」を合わせたもの、「非正規社員等」は「契約社員・嘱託」「派遣社員」「パート・アルバイト（学生を除く）」を合わせたものである。

3 - 5 仕事に対する満足度

満足度が最も高いのは「通勤時間」で、以下、「就労形態（正規、非正規など）」「専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会」と続いています。逆に、「不満」と評価されているのは、「収入額」「仕事先の介護などへの支援制度」「仕事先の育児などへの支援制度」の3項目となっています。

性・年齢別にみると、「県全体」の満足度に比べて低い項目は、男性では「40歳代」以下に集中し、女性では「60歳代」以上に集中する傾向がうかがえます。

性・年齢別	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	項目番号	4	1	5	8	9	3	6	7	2
	項目	通勤時間	就労形態（正規、非正規など）	専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会	職場の人間関係	現在の仕事全体について	労働時間	仕事先の育児などへの支援制度	仕事先の介護などへの支援制度	収入額
県全体		3.73	3.63	3.44	3.44	3.27	3.24	2.91	2.81	2.62
性別	男性	3.60	3.69	3.42	3.44	3.21	3.17	2.82	2.76	2.58
	女性	3.92	3.55	3.46	3.43	3.32	3.34	3.04	2.87	2.66
男性	20歳代	3.61	3.49	3.21	3.55	3.21	3.00	2.71	2.66	2.54
	30歳代	3.70	3.68	3.49	3.40	3.08	2.98	2.82	2.75	2.36
	40歳代	3.53	3.78	3.31	3.25	3.01	3.00	2.59	2.51	2.41
	50歳代	3.48	3.84	3.47	3.43	3.35	3.21	2.95	2.91	2.84
	60歳代	3.66	3.49	3.51	3.57	3.34	3.42	2.94	2.89	2.70
	70歳以上	3.88	3.55	3.61	3.52	3.30	3.63	2.95	2.88	2.50
女性	20歳代	3.86	3.51	3.48	3.41	3.25	3.06	2.86	2.81	2.58
	30歳代	3.83	3.87	3.60	3.56	3.46	3.66	3.23	2.91	2.68
	40歳代	4.05	3.58	3.42	3.38	3.34	3.21	3.04	2.91	2.73
	50歳代	4.05	3.42	3.42	3.40	3.33	3.38	3.14	2.96	2.76
	60歳代	3.53	3.32	3.36	3.41	3.15	3.49	2.82	2.63	2.52
	70歳以上	3.33	2.79	3.20	3.25	3.07	3.21	2.81	2.77	2.29

（注）網かけは、性・年齢での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と性・年齢との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

女性の「正規社員等」や「企業などの役員」の満足度は、全般的に「県全体」の満足度に比べて高くなっています。

「正規社員等」と「非正規社員等」に着目すると、「正規社員等」では、男女ともに「仕事先の介護などへの支援制度」と「収入額」は「不満」と評価されています。また、「県全体」の満足度に比べて低いのは、男性では9項目中の「就労形態(正規、非正規など)」「専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会」「収入額」以外の6項目となっていますが、女性では「労働時間」のみとなっています。

「非正規社員等」で「県全体」の満足度に比べて低いのは、男性では9項目中の「職場の人間関係」と「労働時間」以外の7項目となっていますが、女性では9項目中の「就労形態(正規、非正規など)」「専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会」「職場の人間関係」「収入額」の4項目となっており、「県全体」の満足度と比較したときの男女の職業(就労形態)での満足度の差がみられます。

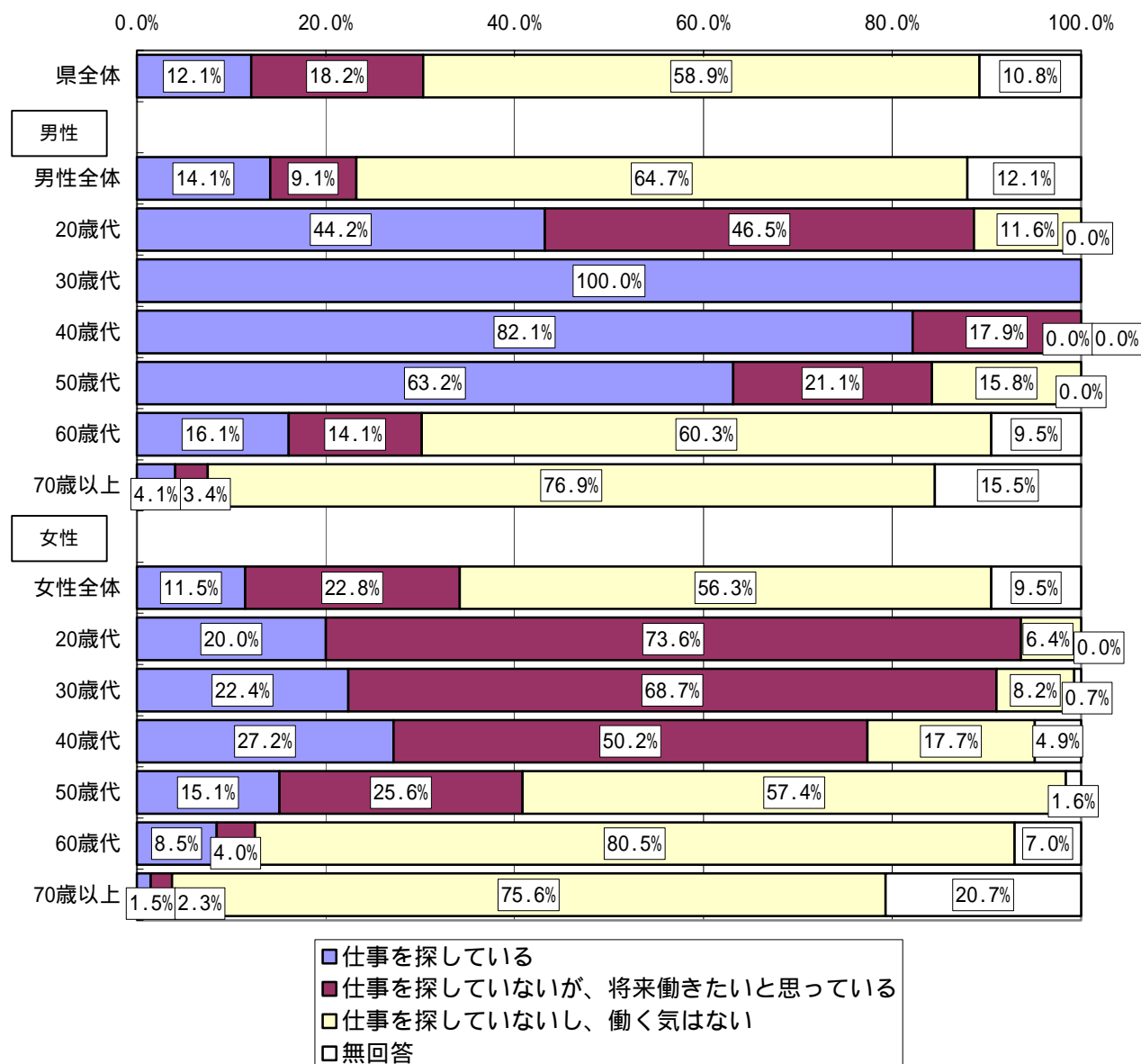
性・職業別	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	項目番号	4	1	5	8	9	3	6	7	2
	項目	通勤時間	就労形態(正規、非正規など)	専門的な資格や技術、経験の活用・発揮機会	職場の人間関係	現在の仕事全体について	労働時間	仕事先の育児などへの支援制度	仕事先の介護などへの支援制度	収入額
	県全体	3.73	3.63	3.44	3.44	3.27	3.24	2.91	2.81	2.62
男性	農林漁業	3.76	3.23	3.52	3.57	2.67	2.72	2.72	2.65	1.88
	自営業	3.90	3.54	3.45	3.52	3.12	3.26	2.93	2.85	2.46
	正規社員等	3.46	3.93	3.45	3.39	3.26	3.07	2.80	2.73	2.71
	非正規社員等	3.72	3.10	3.27	3.45	3.26	3.38	2.76	2.76	2.42
	企業などの役員	2.99	3.77	3.63	3.40	3.40	3.47	2.79	2.91	3.12
女性	農林漁業	3.07	2.70	3.01	2.73	2.62	2.90	2.62	2.43	1.96
	自営業	3.76	3.31	3.55	3.75	3.16	3.16	3.03	2.97	2.03
	正規社員等	3.76	3.99	3.68	3.44	3.43	3.21	3.11	2.88	2.93
	非正規社員等	4.05	3.24	3.25	3.36	3.28	3.47	2.96	2.82	2.60
	企業などの役員	4.87	4.65	4.29	3.78	3.52	4.30	3.97	3.97	3.60

(注) 網かけは、性・職業での満足度が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と性・職業との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

3 - 6 働いていない人の現在の求職活動の状況

58.9%が「仕事を探していないし、働く気はない」と回答しているのに対して、現在の求職活動の状況に関係なく、「働く意思がある」(「仕事を探している」+「仕事を探していないが、将来働きたいと思っている」)人は30.3%となっています。

性・年齢別にみると、女性では、「40歳代」にかけては年齢層が高いほど「仕事を探している」が多い傾向となっています。また、「働く意思がある」人は、女性の「30歳代」以下では90%以上を占めています。



(注) 男性の各年齢層の集計母数は、「20歳代」が43件、「30歳代」が9件、「40歳代」が28件、「50歳代」が38件、「60歳代」が305件、「70歳以上」が640件で、「50歳代」以下では有業者が多いために集計母数に著しい偏りが生じている。

3 - 7 求職者が働くための条件として重視すること

「働く時間の融通がききやすい」が突出しています。

性・年齢別にみると、女性の「20歳代」と「50歳代」では、上位3項目に「働く時間の融通がききやすい」「通勤時間が短い」のほかに「専門的な資格や技術、経験が活かせる」が入っており、また、「30歳代」では「仕事先の育児などへの支援制度が整っている」が入っているなど、年齢層によって重視する事項の違いがみられます。

	働く時間の融通がききやすい	通勤時間が短い	希望の収入額が得られる	専門的な資格や技術、経験が活かせる	正規職員・従業員として働ける	仕事先の育児などへの支援制度が整っている	育児・介護などの社会的サポート（保育所や福祉施設など）が整っている	仕事先の介護などへの支援制度が整っている	その他
県全体	69.7%	36.6%	26.4%	16.3%	12.1%	9.3%	8.4%	3.1%	4.7%
性別									
男性	40.1%	23.5%	42.5%	19.0%	37.2%	0.0%	1.6%	2.4%	5.3%
女性	78.7%	41.2%	21.8%	15.8%	4.5%	12.5%	10.7%	3.2%	4.1%
性別・年齢									
20歳代	18.4%	21.1%	44.7%	5.3%	68.4%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%
30歳代	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	32.1%	0.0%	35.7%	14.3%	67.9%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%
50歳代	40.6%	18.8%	53.1%	0.0%	40.6%	0.0%	0.0%	12.5%	3.1%
60歳代	62.6%	33.0%	37.4%	26.4%	22.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳以上	24.5%	26.5%	36.7%	34.7%	10.2%	0.0%	0.0%	0.0%	18.4%
性別・女性									
20歳代	62.1%	41.7%	21.4%	23.3%	15.5%	3.9%	17.5%	0.0%	1.9%
30歳代	79.4%	30.9%	21.8%	15.2%	3.7%	30.5%	17.7%	0.0%	1.6%
40歳代	84.4%	46.3%	26.8%	12.7%	1.0%	9.3%	2.4%	6.3%	2.9%
50歳代	76.6%	49.2%	17.2%	24.2%	5.5%	0.0%	13.3%	4.7%	5.5%
60歳代	88.7%	57.7%	18.3%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%
70歳以上	75.0%	17.9%	21.4%	17.9%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	25.0%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

網かけは「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、太字の数値は最多項目を示している。

男性の各年齢層の集計母数は、「20歳代」が43件、「30歳代」が9件、「40歳代」が28件、「50歳代」が38件、「60歳代」が305件、「70歳以上」が640件で、「50歳代」以下では有業者が多いために集計母数に著しい偏りが生じている。

3 - 8 行政が取り組むべき雇用・就労支援対策

「県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること」が最も多く、以下、「企業を誘致し、新しい雇用の場を創ること」「育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること」と続いています。

性・年齢別にみると、女性の「30歳代」では「育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること」が最も多く、他の年齢層では「県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること」が最も多くなっています。また、「20歳代」と「30歳代」では「育児についての社会的なサポートを充実させること」が上位3項目に入っており、同様に、「50歳代」以上では「介護についての社会的なサポートを充実させること」が上位3項目に入るなど、年齢層によって異なる傾向がみられます。

	県内企業を活性化し、雇用の維持や拡大を図ること	企業を誘致し、新しい雇用の場を創ること	育児や介護などと仕事が両立できる職場づくりを企業に働きかけること	介護についての社会的なサポートを充実させること	農林漁業や医療、福祉などの分野で不足している人材を確保すること	育児についての社会的なサポートを充実させること	能力の向上・資格取得するための支援を充実させること	仕事に関する相談支援を充実させること	インターンシップ制度などで、若者の職業観を育てること	その他
県全体	41.7%	29.0%	18.4%	18.3%	15.4%	13.0%	10.2%	8.6%	6.1%	2.9%
性別										
男性	45.4%	36.5%	12.1%	15.9%	18.5%	9.6%	11.4%	9.8%	5.5%	3.4%
女性	39.1%	22.8%	24.5%	20.4%	12.8%	16.3%	9.3%	7.5%	6.7%	2.5%
性別・年齢										
20歳代	47.5%	31.6%	15.5%	6.0%	15.4%	11.3%	23.7%	11.7%	11.1%	2.7%
30歳代	49.3%	35.1%	15.9%	8.2%	14.2%	24.1%	7.9%	8.4%	7.9%	8.4%
40歳代	53.5%	49.6%	12.3%	9.3%	18.5%	8.3%	16.1%	11.4%	3.3%	3.8%
50歳代	56.4%	44.0%	12.3%	15.6%	21.4%	7.8%	8.8%	10.7%	3.7%	1.9%
60歳代	44.1%	38.6%	10.0%	20.9%	21.7%	6.8%	8.8%	10.7%	5.3%	2.9%
70歳以上	30.8%	25.3%	9.9%	25.0%	17.7%	5.7%	7.9%	7.3%	3.9%	2.6%
性別・女性										
20歳代	51.7%	14.8%	32.5%	6.6%	15.9%	26.9%	12.5%	7.1%	8.5%	1.1%
30歳代	32.6%	25.3%	41.9%	9.5%	15.0%	36.6%	13.5%	4.4%	4.1%	2.9%
40歳代	45.1%	25.3%	34.1%	17.2%	13.3%	16.4%	12.9%	10.3%	9.2%	2.3%
50歳代	46.5%	29.0%	21.4%	25.5%	12.4%	13.6%	8.3%	11.4%	5.5%	1.4%
60歳代	37.1%	21.5%	15.4%	29.2%	13.1%	9.4%	8.5%	9.0%	8.1%	4.1%
70歳以上	27.2%	20.5%	10.7%	27.1%	9.2%	4.2%	3.6%	3.5%	5.3%	2.6%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

網かけは「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、太字の数値は最多項目を示している。

4 県民のまちづくりに関する意識やニーズについて

4 - 1 地域のまちづくりの評価

肯定的評価（3.01以上）は9項目で、「自然環境が豊かである」の評価が最も高く、以下、「歴史・文化遺産等が身近にある」「日用品の買物が便利である」と続いています。逆に、否定的評価（2.99以下）は11項目で、「親しみやすい水辺がある」「高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる」「飲食店や娯楽施設が充実している」などとなっています。

地域別にみると、「県全体」の評価を下回っている項目が最も多いのは「地域4（東部）」で、県南部の「地域5（南東部）」と「地域6（南西部）」でも「県全体」に比べて評価が低い項目が多くなっています。

順位	項目番号	項目	県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1	20	自然環境が豊かである	3.64	3.61	3.62	3.50	3.93	4.36	3.99
2	19	歴史・文化遺産等が身近にある	3.53	3.57	3.69	3.44	3.49	3.49	3.26
3	1	日用品の買物が便利である	3.52	3.53	3.57	3.87	2.97	2.45	2.74
4	15	犯罪が少なく、治安がよい	3.33	3.37	3.29	3.16	3.49	3.81	3.42
5	2	ショッピングセンターで買物を楽しむことができる	3.29	3.32	3.13	3.66	2.78	2.18	2.46
6	14	ごみや下水が適正に処理されている	3.25	3.41	3.10	3.15	3.01	3.11	2.69
7	8	公園や緑地が整備されている	3.05	3.05	3.15	3.15	2.79	2.59	2.93
8	11	生活道路が整備されている	3.05	3.09	2.95	3.09	3.01	2.81	2.62
9	4	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所などの医療施設が整っている	3.04	3.02	3.08	3.27	2.73	2.54	2.41
10	12	公共交通機関が整備され、通勤・通学・買物などが便利である	2.92	3.09	2.85	3.03	2.45	1.93	1.76
11	18	街並みが美しい	2.88	2.92	2.86	2.81	2.78	3.09	2.90
12	5	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設が整っている	2.82	2.82	3.00	2.99	2.58	2.07	2.18
13	9	競技場やグラウンド、プールなどの運動施設が整っている	2.81	2.71	3.02	3.02	2.68	2.47	2.65
14	7	高齢者や障害者に対するサービス施設が整っている	2.76	2.75	2.86	2.80	2.69	2.60	2.55
15	16	地震や水害など災害に対する備えができています	2.76	2.82	2.79	2.69	2.69	2.68	2.52
16	6	子どもを安心して育てるための施設が整っている	2.75	2.77	2.84	2.81	2.61	2.35	2.21
17	10	映画館や図書館、美術館などの文化施設が整っている	2.59	2.67	2.69	2.80	2.01	1.68	1.72
18	3	飲食店や娯楽施設が充実している	2.58	2.60	2.38	3.00	2.07	1.56	1.83
19	13	高齢者や障害者でも安全に道を歩くことができる	2.51	2.60	2.47	2.46	2.37	2.29	2.19
20	17	親しみやすい水辺がある	2.31	2.24	2.45	2.17	2.35	3.38	2.92

(注) 網かけは、地域での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と地域との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

4 - 2 地域で充実してほしい施設

「総合病院など救急時の対応も可能な医療施設」が最も多く、以下、「社会福祉施設（子どもや高齢者、障害者の福祉を充実させるための施設）」「気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所」と続いており、保健・医療・福祉関連施設が上位に集まっています。

地域別にみると、地域に関係なく「総合病院など救急時の対応も可能な医療施設」が最も多くなっています。

居住地域の状況別にみると、「県全体」の上位3項目と傾向の大きな違いはありませんが、「商業地域」と「住宅地域」では「緑地や公園、広場などの憩いの場」が上位3項目に入っています。

	総合病院など救急時の対応も可能な医療施設	社会福祉施設（子どもや高齢者、障害者の福祉を充実させるための施設）	気軽に健康相談や診療を受けられる病院や診療所	日常の買物に便利な店舗や商店街	買物を楽しめるショッピングセンター	緑地や公園、広場などの憩いの場	スポーツやレクリエーションを楽しむ施設	映画館、美術館など文化・芸術に親しめる施設	飲食店や娯楽施設
県全体	43.8%	24.2%	21.2%	21.1%	17.6%	17.3%	12.4%	11.8%	10.2%
地域別	地域1（北部）	44.4%	23.9%	20.3%	20.9%	17.3%	12.9%	12.0%	9.5%
	地域2（西部）	39.1%	21.1%	21.4%	23.1%	17.4%	10.2%	11.2%	13.4%
	地域3（中部）	45.7%	27.4%	22.0%	19.3%	14.5%	20.1%	13.9%	10.8%
	地域4（東部）	36.0%	22.1%	22.7%	23.5%	17.0%	14.4%	10.2%	14.4%
	地域5（南東部）	46.1%	20.2%	22.3%	29.4%	16.7%	11.0%	7.8%	9.6%
	地域6（南西部）	50.0%	20.1%	24.8%	17.3%	21.6%	6.8%	8.6%	16.2%
居住地域の状況別	商業地域	29.6%	20.9%	24.5%	15.0%	16.5%	25.0%	19.4%	8.3%
	住宅地域	42.1%	23.5%	17.9%	21.4%	17.7%	22.3%	13.6%	13.0%
	郊外の住宅地域	46.2%	24.3%	22.3%	20.7%	17.4%	15.7%	12.4%	11.7%
	農村地域	46.1%	26.9%	24.7%	21.8%	17.4%	10.3%	9.9%	13.7%
	山間地域	47.9%	25.9%	24.7%	23.1%	19.3%	9.5%	6.6%	6.1%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

網かけは各属性区分の上位3項目を示し、太字の数値は最多項目を示している。

4 - 3 不安に感じる犯罪

「空き巣、忍び込み等の侵入犯罪」が最も多く、以下、「殺人、強盗、放火等の凶悪事件」「携帯電話やインターネットを利用した犯罪」と続いています。

ライフステージ別にみると、ライフステージに関係なく、上位3項目に「空き巣、忍び込み等の侵入犯罪」と「殺人、強盗、放火等の凶悪事件」が入っており、「若者」「教育期後期」「高齢者夫婦」では「携帯電話やインターネットを利用した犯罪」、「育児期」と「教育期前期」では「子どもに対する声かけやつきまとい」などがみられます。

性別にみると、「男性」では「県全体」の上位3項目と同じ傾向となっていますが、「女性」では、「携帯電話やインターネットを利用した犯罪」に替わって、「子どもに対する声かけやつきまとい」が入っています。

年齢別にみると、「20歳代」と「50歳代」では「殺人、強盗、放火等の凶悪事件」が最も多く、他の年齢層では「空き巣、忍び込み等の侵入犯罪」が最も多くなっています（「30歳代」では「子どもに対する声かけやつきまとい」も同率で最多）。

	空き巣、忍び込み等の侵入犯罪	殺人、強盗、放火等の凶悪事件	携帯電話やインターネットを利用した犯罪	子どもに対する声かけやつきまとい	少年による犯罪	路上でのすりやひったくり	女性に対する痴漢行為やストーカ ¹	オレオレ詐欺等のいわゆる「振り込め詐欺」	
県全体	49.1%	43.6%	23.8%	19.5%	18.9%	11.1%	10.4%	9.5%	
ライフステージ別	若者	34.4%	50.3%	26.2%	20.9%	22.2%	8.9%	22.8%	5.8%
	夫婦	53.4%	51.6%	20.0%	15.8%	22.7%	12.7%	6.0%	6.8%
	育児期	44.6%	36.1%	17.6%	58.7%	14.8%	6.6%	7.4%	5.5%
	教育期前期	42.1%	33.0%	29.4%	45.1%	20.2%	5.5%	11.9%	4.6%
	教育期後期	45.9%	47.1%	25.5%	17.9%	22.7%	9.1%	15.2%	6.2%
	単身高齢者	61.1%	38.9%	15.8%	6.0%	8.1%	22.1%	1.8%	17.2%
	高齢者夫婦	58.1%	43.6%	20.6%	4.1%	17.1%	15.8%	4.3%	15.3%
性別	男性	49.1%	45.2%	26.6%	16.8%	23.8%	7.7%	7.1%	8.8%
	女性	50.0%	42.3%	21.7%	22.5%	14.4%	14.3%	13.7%	9.7%
年齢別	20歳代	34.0%	50.1%	25.4%	22.1%	22.5%	8.9%	23.1%	5.4%
	30歳代	47.8%	38.7%	19.9%	47.8%	18.3%	8.9%	8.6%	5.1%
	40歳代	46.6%	39.2%	29.3%	34.5%	20.5%	4.3%	15.8%	4.2%
	50歳代	49.0%	49.9%	26.7%	13.4%	18.8%	11.4%	11.7%	7.4%
	60歳代	57.2%	44.0%	25.5%	9.4%	20.4%	14.3%	4.8%	8.5%
	70歳以上	55.0%	40.7%	19.1%	6.2%	15.1%	15.5%	5.0%	19.5%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。
網かけは各属性区分の上位3項目を示し、太字の数値は最多項目を示している。

4 - 4 日頃から行っている災害等への備え

「消火器などの用意」が最も多く、以下、「水、食料、救急医薬品などの防災用品の備蓄」「家具などの転倒防止」と続いています。

ライフステージ別に見ると、ライフステージに関係なく、上位3項目には「消火器などの用意」と「水、食料、救急医薬品などの防災用品の備蓄」が入っており、このほか、「若者」「夫婦」「育児期」では「特に備えはしていない」「教育期後期」と「単身高齢者」では「災害時における家族との連絡方法の確認」がそれぞれ入っています。

年齢別にみると、「20歳代」と「30歳代」では「特に備えはしていない」が最も多く、年齢層が低いほど「特に備えはしていない」が多い傾向となっています。

	消火器などの用意	水、食料、救急医薬品などの防災用品の備蓄	家具などの転倒防止	特に備えはしていない	災害時における家族との連絡方法の確認	避難経路の確認	地域や学校・職場などで実施される防災訓練などへの参加	耐火金庫に貴重品などを保管	住宅の耐震診断や耐震補強工事	点検 ブロック塀や門柱などの安全性の	地域での浸水の危険性などの確認	土砂災害（土石流、地すべり、けずれ）の危険箇所の確認	ガラスの飛散防止	
県全体	37.8%	33.6%	24.3%	23.5%	21.0%	16.9%	13.2%	11.4%	8.3%	6.5%	6.4%	5.4%	3.5%	
ライフステージ別	若者	27.1%	24.3%	18.5%	40.0%	15.3%	12.6%	10.9%	3.7%	3.9%	1.7%	3.9%	3.0%	1.6%
	夫婦	32.7%	30.3%	22.3%	27.5%	21.0%	16.1%	11.7%	14.3%	6.0%	6.1%	6.2%	3.4%	1.8%
	育児期	28.7%	32.8%	24.1%	28.3%	16.1%	16.6%	12.4%	7.8%	9.9%	2.4%	5.4%	4.6%	3.9%
	教育期前期	35.8%	33.5%	31.3%	21.2%	21.4%	17.2%	16.0%	10.8%	10.5%	5.0%	8.4%	6.0%	5.4%
	教育期後期	47.1%	37.2%	23.7%	21.4%	27.2%	18.5%	14.0%	12.1%	9.5%	3.3%	7.7%	6.7%	4.6%
	単身高齢者	40.4%	31.2%	23.5%	18.6%	28.1%	23.5%	5.3%	8.8%	4.9%	7.7%	4.6%	8.1%	5.3%
	高齢者夫婦	46.3%	45.4%	26.2%	14.7%	26.1%	21.9%	14.8%	14.8%	10.5%	9.4%	4.9%	5.8%	4.9%
年齢別	20歳代	26.2%	23.7%	18.4%	40.8%	14.9%	12.1%	10.1%	3.5%	4.3%	1.6%	3.7%	2.8%	2.0%
	30歳代	24.5%	29.1%	22.9%	32.7%	14.1%	13.7%	12.6%	5.8%	9.0%	3.4%	5.8%	4.4%	3.6%
	40歳代	35.9%	31.2%	25.3%	24.9%	24.0%	13.8%	15.0%	10.9%	8.4%	2.6%	6.6%	3.8%	4.1%
	50歳代	36.0%	34.2%	26.3%	23.0%	17.2%	15.4%	13.3%	10.9%	8.8%	6.9%	6.0%	4.7%	2.5%
	60歳代	46.5%	40.8%	29.2%	14.3%	23.5%	20.3%	18.1%	17.0%	9.1%	9.0%	8.9%	5.6%	2.7%
	70歳以上	47.0%	37.0%	23.7%	16.6%	26.7%	21.9%	9.9%	15.3%	8.6%	10.6%	5.9%	8.6%	5.4%

(注) 集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。
網かけは各属性区分の上位3項目を示し、太字の数値は最多項目を示している。

4 - 5 地域の生活環境の変化に対する評価

(1) 「県全体」の評価及び地域別での比較

「緑の豊かさ」が3.00で「どちらともいえない」という評価の中間になっているほかは、悪化という評価（2.99以下）になっており、「周辺の静けさ」の評価が最も低くなっています。

「地域1(北部)」から「地域3(中部)」では、すべての項目が「悪化」と評価されている一方、「地域4(東部)」の「緑の豊かさ」と「空気のきれいさ」、「地域5(南東部)」と「地域6(南西部)」の「緑の豊かさ」「景観の美しさ」「空気のきれいさ」は、それぞれ「改善」と評価されています。

順位	項目番号	項目	県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1	4	緑の豊かさ	3.00	2.97	2.93	2.99	3.16	3.22	3.19
2	5	景観の美しさ	2.95	2.91	2.95	2.98	2.98	3.09	3.10
3	1	空気のきれいさ	2.93	2.90	2.94	2.91	3.07	3.11	3.09
4	2	川や池のきれいさ	2.89	2.89	2.98	2.89	2.85	2.66	2.84
5	3	周辺の静けさ	2.75	2.72	2.77	2.70	2.94	2.99	2.95

(注) 網かけは、地域での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と地域との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

(2) 「県全体」の評価及び居住地域の状況別での比較

「住宅地域」と「郊外の住宅地域」では、すべての項目が「悪化」と評価されているのに対し、「山間地域」では「川や池のきれいさ」以外は「改善」と評価されています。

順位	項目番号	項目	県全体	商業地域	住宅地域	郊外の住宅地域	農村地域	山間地域
1	4	緑の豊かさ	3.00	2.98	2.93	2.98	3.10	3.39
2	5	景観の美しさ	2.95	2.96	2.89	2.96	2.98	3.27
3	1	空気のきれいさ	2.93	2.85	2.91	2.89	2.97	3.11
4	2	川や池のきれいさ	2.89	3.00	2.91	2.86	2.86	2.89
5	3	周辺の静けさ	2.75	2.63	2.73	2.74	2.78	3.06

(注) 網かけは、居住地域の状況での評価が「県全体」よりも低いことを意味する。ただし、「県全体」と居住地域の状況との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

4 - 6 地域で景観を損なう要因となっていると思うもの

「ゴミやタバコのポイ捨て」が最も多く、以下、「ペットや鳥の排泄物」「不法投棄」と続いています。

地域別にみると、「地域5（南東部）」では「不法投棄」が最も多く、他の地域では「ゴミやタバコのポイ捨て」が最も多くなっています。また、「山林の荒廃」は県南部の地域で他の地域に比べて多く、「電柱・電話柱・電線」は県北部の地域ほど多い傾向となっています。

居住地域の状況別にみると、「山間地域」では「不法投棄」が最も多く、他の居住地域の状況では「ゴミやタバコのポイ捨て」が最も多くなっています。また、上位3項目をみると、「住宅地域」と「郊外の住宅地域」では「県全体」の上位3項目と同じですが、「商業地域」では「ゴミやタバコのポイ捨て」と「ペットや鳥の排泄物」に加えて「電柱・電話柱・電線」、「農村地域」と「山間地域」では、「ゴミやタバコのポイ捨て」と「不法投棄」に加え、「農村地域」では「耕作放棄地」、「山間地域」では「山林の荒廃」が入っています。

	ゴミやタバコのポイ捨て	ペットや鳥の排泄物	不法投棄	電柱・電話柱・電線	広告・看板	耕作放棄地	山林の荒廃	建物や工作物の色やデザイン	自動販売機	交通標識や案内標識	その他	
県全体	54.0%	37.6%	36.8%	27.2%	20.2%	17.0%	11.8%	6.5%	5.4%	1.6%	4.6%	
地域別	地域1（北部）	51.9%	38.0%	33.1%	29.2%	21.2%	14.1%	10.1%	7.6%	6.9%	1.8%	4.6%
	地域2（西部）	53.5%	44.0%	30.1%	28.9%	25.6%	15.2%	9.0%	9.0%	5.2%	1.7%	7.0%
	地域3（中部）	59.4%	40.0%	40.0%	28.3%	19.9%	17.8%	8.0%	4.5%	3.8%	1.3%	4.5%
	地域4（東部）	53.8%	29.2%	45.9%	17.6%	15.6%	26.1%	20.7%	5.9%	3.7%	0.6%	2.8%
	地域5（南東部）	45.0%	19.1%	53.5%	16.3%	8.9%	31.6%	39.4%	2.8%	3.2%	1.8%	3.9%
	地域6（南西部）	52.2%	29.5%	51.4%	14.4%	11.5%	25.5%	29.5%	4.3%	3.2%	1.8%	2.5%
居住地域の状況別	商業地域	57.3%	35.7%	25.7%	35.2%	29.1%	6.6%	6.3%	12.4%	4.4%	0.2%	5.3%
	住宅地域	57.6%	40.2%	34.0%	30.4%	23.9%	10.2%	5.9%	8.0%	7.5%	1.7%	4.8%
	郊外の住宅地域	52.6%	42.5%	33.0%	29.4%	21.1%	14.2%	9.4%	6.4%	5.1%	1.6%	5.7%
	農村地域	54.4%	33.2%	45.5%	21.0%	15.2%	33.3%	15.9%	3.1%	2.7%	1.9%	3.0%
	山間地域	44.1%	14.8%	59.4%	11.4%	4.6%	36.8%	46.1%	2.6%	2.7%	1.2%	2.2%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い項目順に並べている。

網かけは「その他」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、太字の数値は最多項目を示している。

平成 21 年 度
県民アンケート調査
報告書（概要版）

平成21年10月

奈良県総務部知事公室統計課
〒630-8501 奈良市登大路町30番地
電話 0742-27-8439
